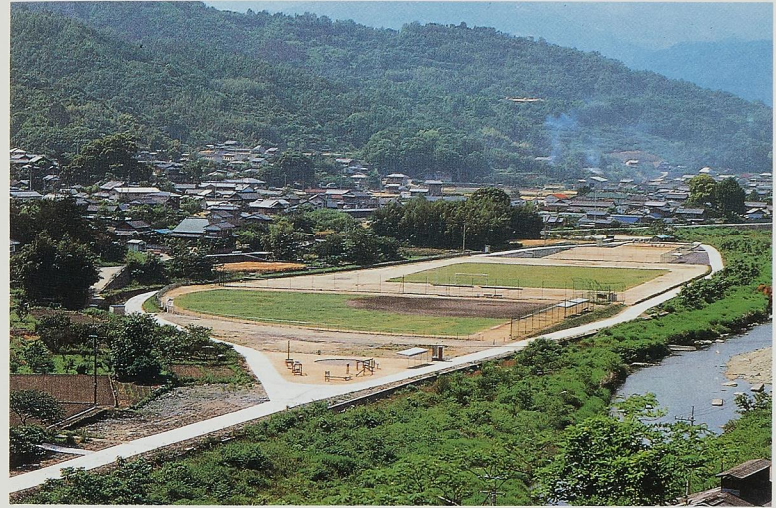


わたしたちの町  
山 川



山川町教育研究所編





山川町総合スポーツ運動場





川田西小学校



山川町



山瀬小学校



川田中小学校



川田小学校

### 3年生・4年生のみなさんへ

わたしたちの住んでいる町「山川」は、南に高越山<sup>あお</sup>を仰ぎ、北に清き流れの吉野川をのぞむ美しい自然に恵まれた町です。

忌部<sup>いんべし</sup>氏の名で知られるように、わたしたちの祖先<sup>そせん</sup>は、はやくからここに住み、この土地を大切に守り、たがやし、文化を築<sup>きず</sup>いてきました。このふるさとでの自然や人々のくらしを学習することによってそのくろうや努力がいつそうよくわかり、この風土<sup>ふうど</sup>にいつそう親<sup>した</sup>しみをおぼえることでしょう。

そこで、3年生・4年生のみなさんは、自分たちの住む町「山川」のことを学習することになっているのですが、教科書には書かれていないので、この本をつくりました。

みなさんの勉強がしやすいようにと考えて、教科書のじゅんじょに、「山川町の資料<sup>しりょう</sup>」を集めてあります。

教科書とあわせて、社会科の学習にしっかりと役立ててください。

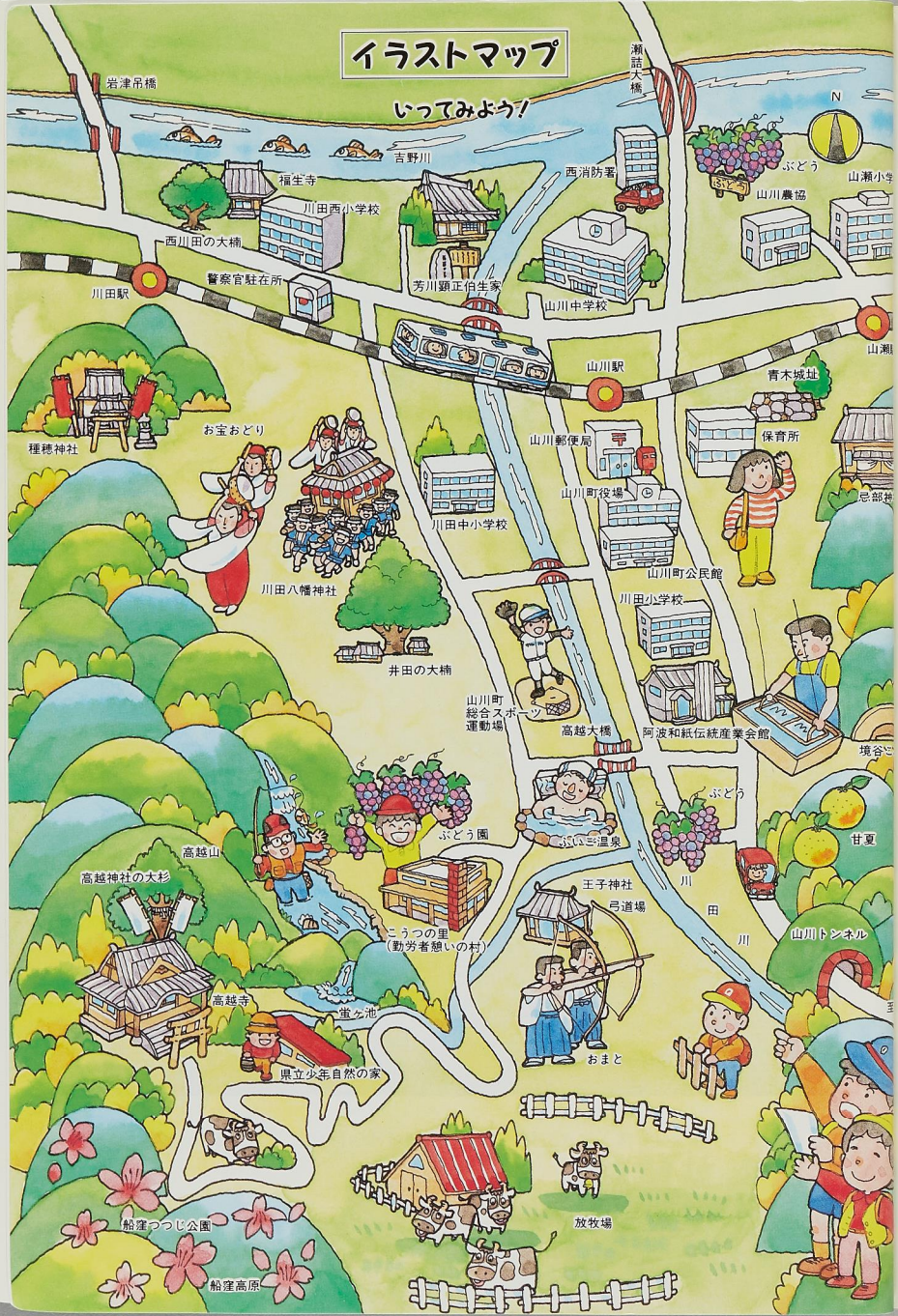
ひこうき  
飛行機から見た山川町





# イラストマップ

いってみよう!



## も く じ

### 第 3 学 年

飛行機から見た山川町  
いってみようイラストマップ

- ④ ぐらしのはげん..... 1
  - 1 わたしたちの町の公民館..... 1
    - (1) ぐらしと公民館..... 1
    - (2) 公民館のあゆみ..... 2
  - 2 すみよい町に..... 3
    - (しりょう) (1) しせつができるまで..... 5
    - (2) 町議会のしごと..... 6
    - (3) 町長のしごとほか..... 6
- ⑤ わたしたちの町..... 7
  - 1 校区たんげん..... 7
    - (1) 山瀬小学校..... 7
    - (2) 川田小学校..... 9
    - (3) 川田中小学校..... 11
    - (4) 川田西小学校..... 13
    - (5) 川田山小学校..... 15
    - (6) 絵地図にまとめて..... 16
  - 2 町内のいろいろなどころ..... 17
    - (1) 店の多いところ..... 17
    - (2) 田の多いところ..... 19
    - (3) 新しい道路のできたところ..... 20
    - (4) ふいご荘・こうつの里・山川少年自然の家..... 21
- ⑥ 町の人々の買いもの..... 21
  - 1 買いものしらべ..... 23
    - (1) 近所での買いもの..... 23
    - (2) 買いものと交通..... 23
    - (3) 商工会のしごと..... 28
- ⑦ いろいろな農作物..... 29
  - 1 農作物のようす..... 29
    - (1) おもな農作物..... 29
    - (2) 農作物のうつりかわり..... 29
  - 2 みかんづくりのしごと..... 30
    - (1) みかん畑の多いところ..... 30
    - (2) みかんづくりのようす..... 31
    - (3) みかんのゆくえ..... 32
  - 3 ぶどうづくり..... 33
  - 4 いろいろな野菜づくり..... 34
    - (しりょう) (1) 山川町の森林..... 35
    - (2) 森林のはたらき..... 35
- ⑧ 工場のしごと..... 36
  - 1 地図で工場をさがす..... 36
    - (1) 町内にある工場..... 36



2	製紙工場をたずねて	37
(1)	工場のように	37
(2)	和紙づくりのうつりかわり	38
(3)	製品のゆくえ	39
3	阿波和紙伝統産業会館	40
(1)	和紙会館の役わり	40
(2)	和紙づくりのじゅんじょ	42
(3)	川田で紙すきがきかんになったわけ	43
4	公害をふせぐ	44
5	はたらく人のために	44
⑥	町の人々のくらしのうつりかわり	45
1	学校のむかしと今	45
(1)	学校でのむかしさがし	45
(2)	むかしの学校	46
(3)	今の学校	50
2	かわってきた町の人々のくらし	56
(1)	町でのむかしさがし	56
(2)	米づくり農家にのこる古い道具	58
(3)	人々が使っていた古い道具	60
(4)	むかしの交通	61
(5)	瀬詰大橋ができるまでのようす	63
(6)	瀬詰大橋ができてからのようす	63
(7)	山川町のうつりかわり	64

第 4 学 年

①	くらしのなかの水とごみ	69
1	くらしと水	69
(1)	ふえる水の使用量	69
(2)	役場の水道課をたずねて	70
(3)	水道のはじまり	71
(しりょう)	使った水のゆくえ	71
2	くらしとごみ	72
(1)	ごみのゆくえ	72
(2)	役場の係をたずねて	75
②	安全なくらし	79
1	火事をふせぐ	79
(1)	学校の消防しせつしらべ	79
(2)	地いきの消防しせつ	80
(3)	消防しょの見学	81
2	交通事故をふせぐ	84
(1)	ふえつづける交通事故	84
(2)	事故の多い国道192号線	85
(3)	交通事故のない町に	86
③	くらしを高めるねがい	88
1	用水をひく	88
(1)	川また用水	88
(2)	そのほかの用水	90
2	いせきや自然を守る	90

第 3 学 年



## ① くらしのはっけん

### 1 わたしたちの町の公民館

#### (1) くらしと公民館

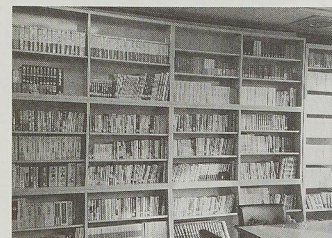
山川町には、山川町公民館と山瀬公民館、川田山公民館があります。



山川町公民館

公民館には、研修室、会議室、図書室、調理室、大会議室などがあり、毎日多くの人に利用されています。

平成2年度調べによると、使用回数が年間748回、使用人員が約17,000人にもなります。



図書室



山瀬公民館

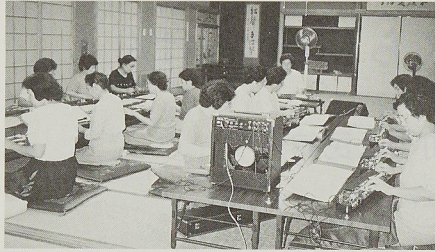


山川町のことも  
しらべられる  
いろいろな本が  
あるんだね



川田山公民館



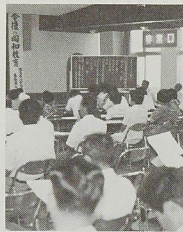


大正琴

町民のくらしを楽しくしたりよくしていく場として大正琴、調理教室、民ようのけいこや講演会、読書会などのほか、町民の健康のためのスポーツ活動なども行われています。



料理教室



講演会



歩け歩け



山川町文化祭

## (2) 公民館のあゆみ

昭和30年に町村<sup>がっぺい</sup>合併して、新しく山川町役場ができた時に、もとの役場の建物を使用して、公民館ができました。

これからも、公民館は子どもからお年よりまで、みんなに利用され、大活やくすることでしょう。



生涯学習講座

## 2 すみよいまちに

山川町は「住みよい健康な町づくり」をめざして、つぎのことに力を入れています。

### ① 住みよい町づくりのために

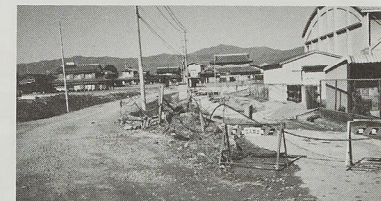
- 山や川にかこまれた美しい自然を守り、町民が安心して、くらす町にする。
- ごみしり場や、じょう水道のせつびをととのえる。
- 道路をよくし、安全しせつをつくる。
- 公害や災害のない町をつくる。

### ② 心のゆたかな人をつくる

- 学校の建物やせつびをととのえ、りっぱな人をつくる。
- 図書館や運動できるせつびをととのえる。
- 大人の勉強をふやし、人と人の心のつながりをいっそうふかめる。
- だれもが人として大切にされる、差別のない町をつくるため学習会を開く。



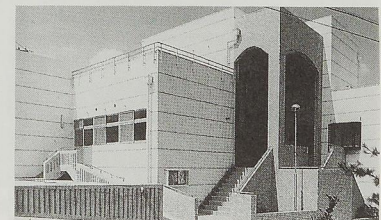
農改センター



道路工事



よほうちゅうしゃ



八坂会館

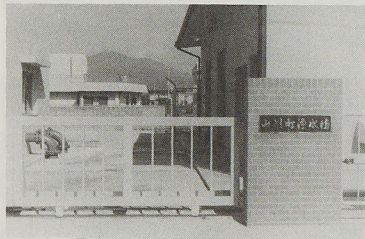


③ ゆたかなくらしができるように

- 老人や、からだの不自由な人、しゅう入の少ない人のくらしをたすける。
- 町の人やしゅう入をふやすためのいろいろなせわをする。
- 農業をさかんにしたり、しごとのぎじゅつを高めたり、町の人のはたらく場所をふやしたりする。

④ 町民のねがう町のすがた

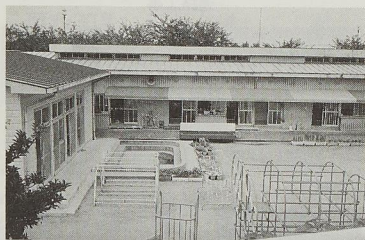
- 新しい方法による農業のさかんな町。
- みんなが健康で、自然の美しい町。
- 工業がさかんで、はたらく場がある町。
- 子どもや老人、しゅう入の少ない人へのたすけがいきどいた町。
- スポーツしせつや、勉強のしせつがとどのつた町。
- 道路がせいびされ、交通のべんりな町。



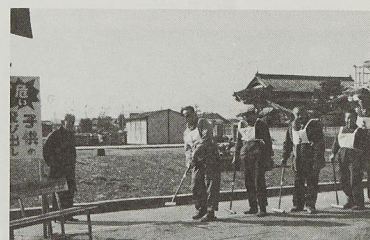
じょう水道水源<sup>げん</sup>地



山川中学校



保育所



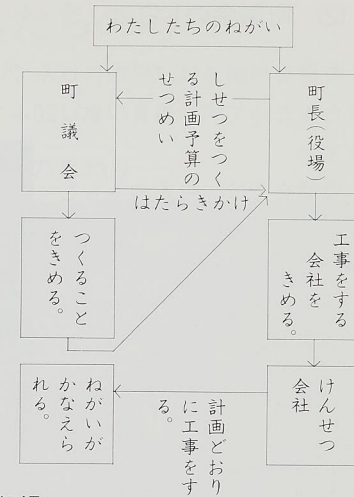
老人のスポーツ活動

(しりょう)

(1) しせつがつくられるまで

わたしたちのくらしの中には、いろいろな問題があります。住宅・道路・水道・ごみ集め・集会所・学校建築などつきつきによりものにして、ゆたかな住みよい町にしたいとねがっています。

それらのねがいは、右のようなじゆんじよで、きめられ、つくられていくようになっています。



〈山川町役場〉



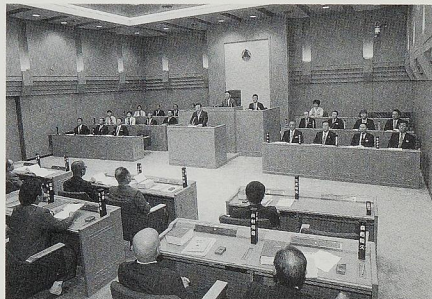
ちやうしや  
庁舎



## (2) 町議会のしごと

町議会の議員は、町内に住んでいる20才以上の人々によって、えらばれた人たちです。議員の数は20名で、4年ごとにせんきょがおこなわれます。

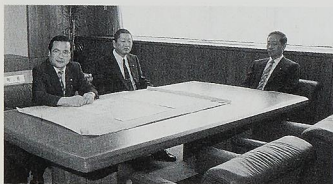
町議会では、町民のくらしをよくする町づくりについて相談し、町のきまりやしごとをするためのお金の使いみちなどをきめます。



町議会

## (3) 町長のしごと

町長は、20才以上の町民によって、4年ごとにせんきょでえらばれます。



町長室

町民のくらしをよくするためのしごとを、実さに行うのが町長です。だから町長は、町民のねがいをよく知り、それをかなえるために、町のきまりや、お金の使いみちの計画をたてて、町議会に相談します。

そして、きまったことを、役場の係の人たちの先頭に立って、まちがないないように、しごとをすすめていきます。

## (4) 教育委員会のしごと

ようち園・小学校や中学校で勉強している子どもたちのためにしせつやせつびを作っていくしごとは、まず第一に教育委員会で相談されます。また、大人の勉強の手助けなどのしごともします。

## ② わたしたちの町

### 1 校区たんけん

#### (1) 山瀬小学校のまわり





山瀬小学校の屋上から見たようす



東のようす



西のようす

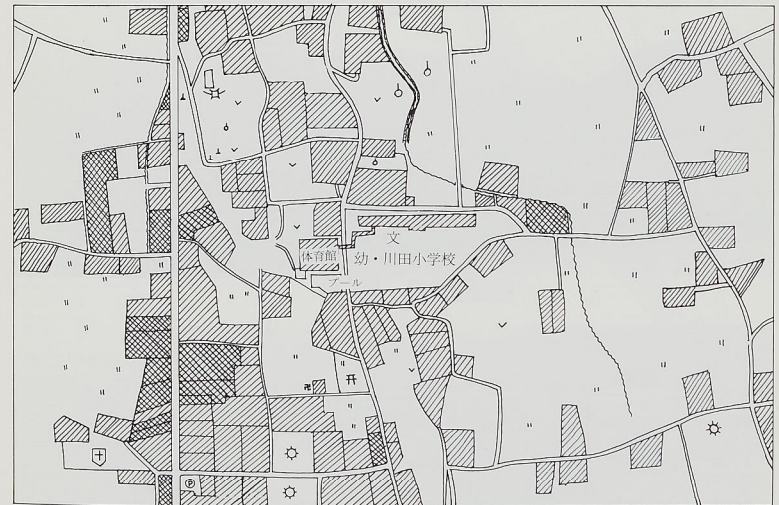


南のようす



北のようす

(2) 川田小学校のまわり

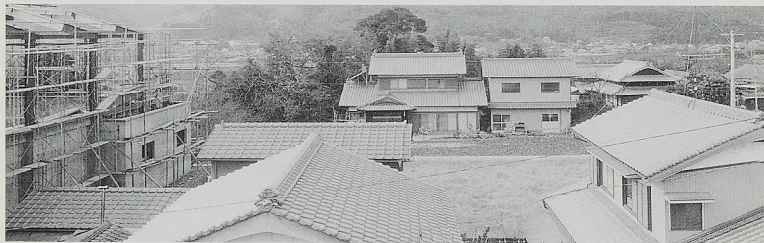




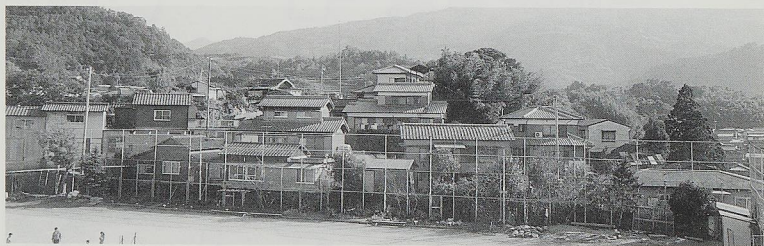
川田小学校の屋上から見たようす



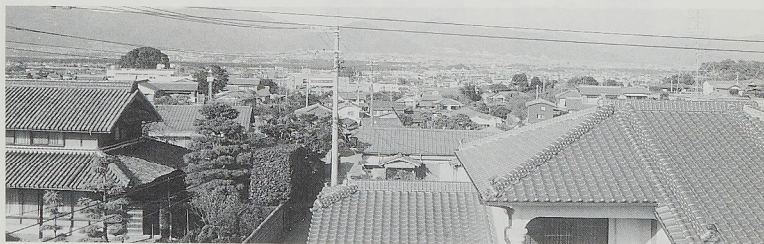
東のようす



西のようす

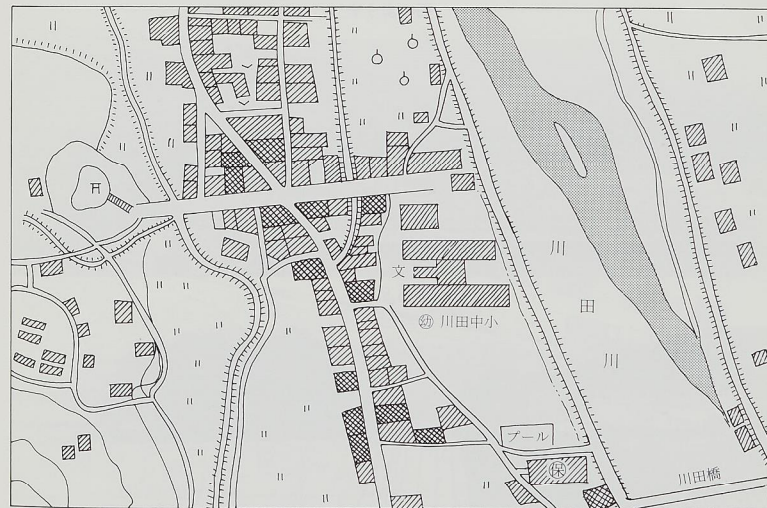
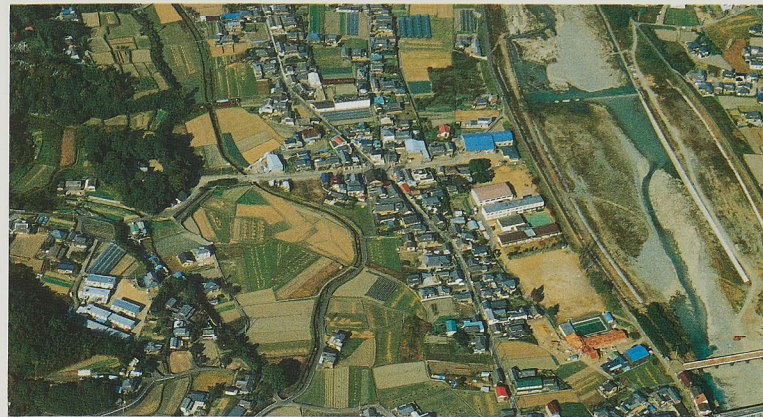


南のようす



北のようす

(3) 川田中小学校のまわり

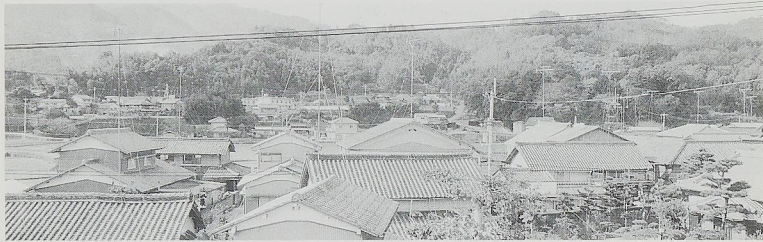




川田中小学校から見たようす



東のようす



西のようす

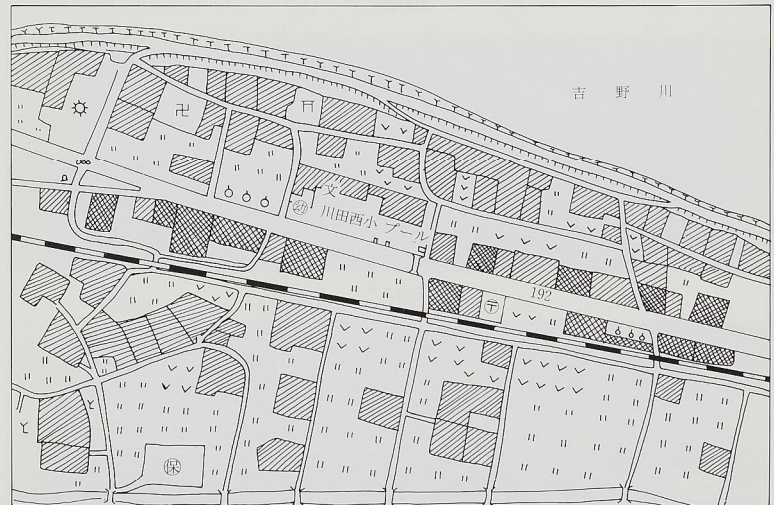


南のようす



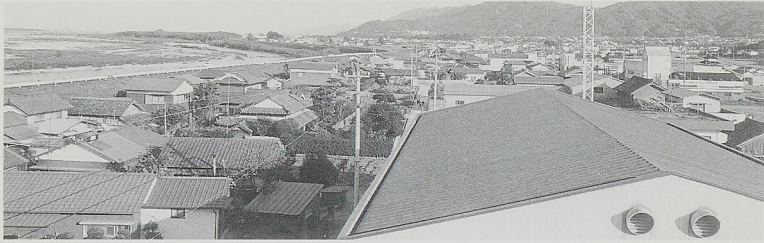
北のようす

(4) 川田西小学校のまわり

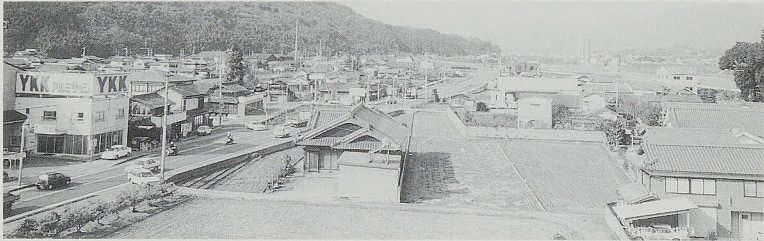




川田西小学校<sup>おと</sup>の屋上から見たようす



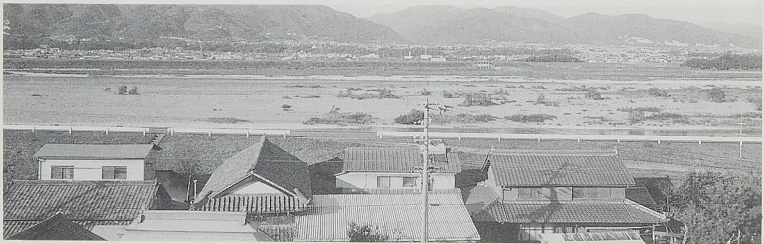
東のようす



西のようす



南のようす



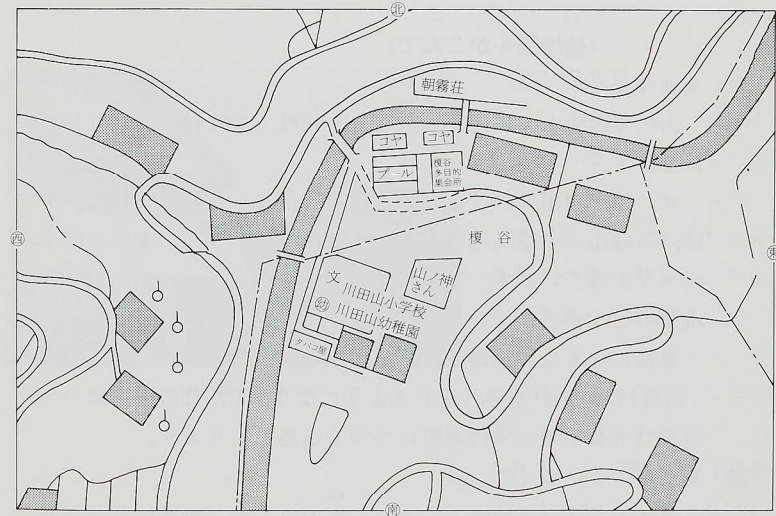
北のようす

(5) 休校前の川田山小学校のまわり



空から見たようす

(昭56.11.うつつ)





## (6) 絵地図にまとめて

絵地図の中でつかう記号です。

おもな地図記号	
× 学校	田
○ 役場	V 畑
⊕ ゆうびん局	○ みかん畑
⊕ 病院	▨ 家の多いところ
☀ 工場	▩ 店の多いところ
卍 神社	× ちゅうさいしょ
卍 寺	⊠ 家
— 橋	--- 町のさかい
—+— 鉄道・えき	

〈絵地図のつくり方〉

- ① 紙の上を北にして、学校を中心に書く。
- ② おもな道路や鉄道・川をかく。
- ③ 大きなたて物など、めだつものをかく。
- ④ 店やじゅうたくの多いところをかく。
- ⑤ 地図の記号を使ってかく。
- ⑥ 田畑の多いところを書く。
- ⑦ 色わけをしてぬる。

〈絵地図をかこんで〉

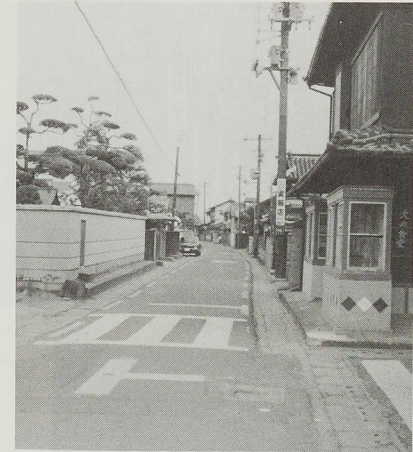
- ① 土地のようす
  - ・ 山川町のまわりには、川島町、阿波町、美郷村、穴吹町などがあります。
  - ・ 北には、四国で一ばん大きい吉野川が西から東へながれ、南には、高越山・四国山地の山々が東西につながり、川田川が南から北へながれています。
- ② 道路のようす
  - ・ 東西に走る広い道路は、国道192号線です。
  - ・ 国道193号線が美郷へ通じるようになり、また町の中央部から北へ瀬詰大橋を通過して阿波町につづく道路もあります。
- ③ 家や店の多いところ
  - ・ 家があつまっているところは、駅の近くや、道路にそったところです。
  - ・ このごろは店が国道にそってふえています。

## 2 町内のいろいろなところ

### (1) 店の多いところ

#### 山瀬駅の近く

山瀬駅は、山川町の東の方にあり、駅の近くには、県道ぞいに商店や住たくがならんでいます。



山瀬駅ふきん



山川駅ふきん

#### 山川駅の近く

山川駅の近くに、役場や公民館・ゆうびん局などがあります。

山川駅には、阿波町から通きんや通学する人たちが多く集まってきます。

国道にそって大きな店や銀行などがあります。

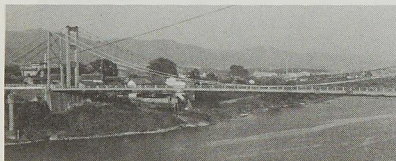
とくに、192号線と193号線のまじわるあたりは新しい店がたくさんできました。



## 川田駅の近く

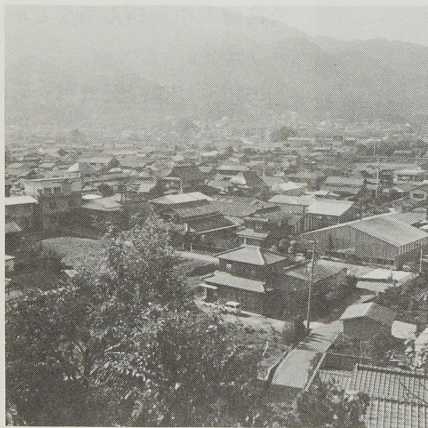


川田駅ふきん



岩津のつり橋

## 川東や町



川東や町

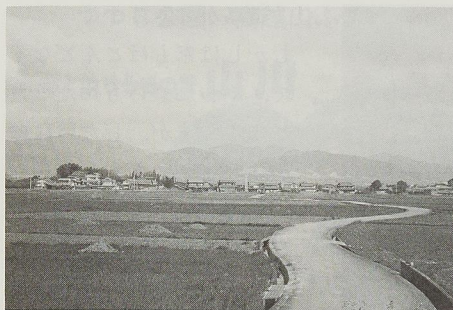
町の西の方にある舟戸<sup>ふなと</sup>には、川をへだてた阿波町と結ぶ岩津橋があります。ここはむかし渡し場<sup>わた</sup>があったところです。むかしは、徳島から吉野川をさかのぼってくる船のふなつきば<sup>ふなつきば</sup>船着場で、今でもそのあとがのこっています。

駅の西の方には、町がたてた住たくがたくさんあります。

川東や町のように、谷川が<sup>さんかん</sup>山間をはなれ平地に出たところのできる町を谷口町といいます。

山地の人々が買物をしたり、山でとれたものを売ったりするためにできた町です。むかしは、映画館<sup>えいがかん</sup>・食堂<sup>しょくどう</sup>・旅館<sup>りょかん</sup>・酒を売る店などがあつてにぎわったところです。

## (2) 田の多いところ

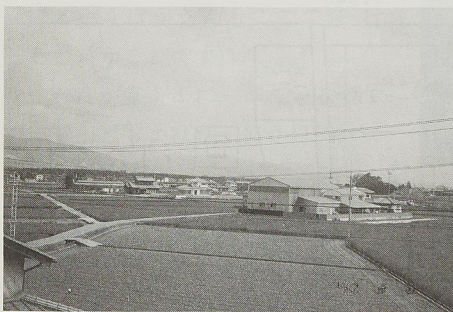


青木でんだい

米づくりのさかんなところです。

山川駅の東の丘<sup>おか</sup>の上に、青木（地名）というところがあります。そこは田んぼがひろがっています。

ここはむかし畑やくわ畑の多かったところですが、川また用水（美郷村川俣から水を用水で引いている）ができて田になり、今では



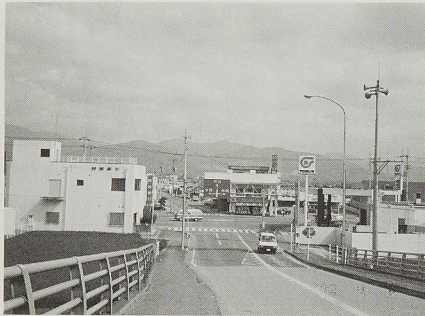
かたぎしでんだい

ここはふるくから米づくりのさかんなところです。

土地がひくく水にめぐまれていたからですが、そのかわり台風<sup>たいふう</sup>などの大水のときには、一面水びたしになってこまったこともたびたびありました。



### (3) 新しい道路のできたところ

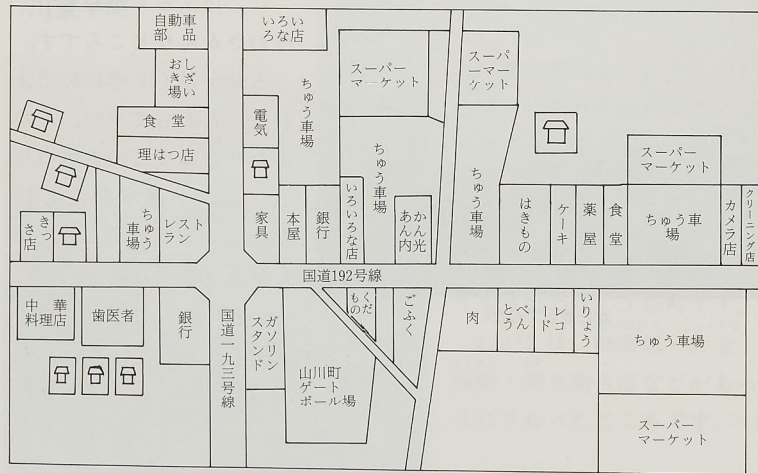


国道192号線と193号線の交差点ふさん

ろから家がたちはじめました。今では、銀行やマーケット、レストランなど大きな店ができて、町内のようにすっきりかわってきました。

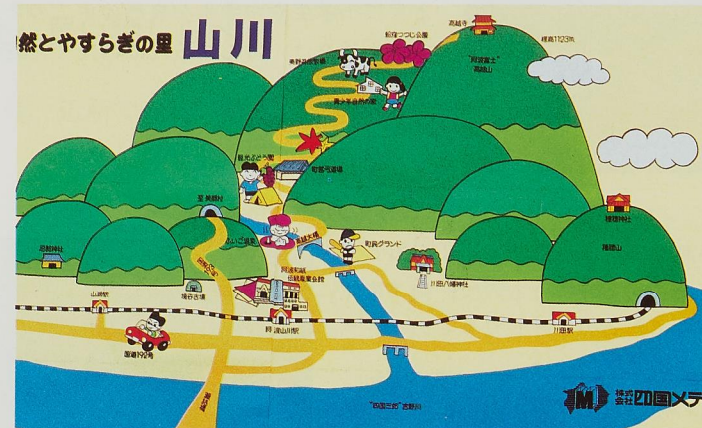
また、昭和53年からすすめられていた、美郷へ通じる国道193号線の工事が、昭和59年に開通し、いっそう便利になりました。

- 道路ができるまで  
むかしは家もほとんどなくて、くわ畑やいも畑だったところですが、しだいに田が広がっていきました。
- 道路ができてから  
昭和43年国道192号線が東西に通り、瀬詰大橋への道路との交差点ができたところから家がたちはじめました。今では、銀行やマーケット、レストランなど大きな店ができて、町内のようにすっきりかわってきました。



### (4) ふいご<sup>そう</sup>荘，こうつの里，山川少年自然の家

つつじ公園，高越山ふさん



今から1300年ぐらい前、役の行者<sup>えんぎょうじゃ</sup>という人がひらいた山で、こうぼう<sup>こうぼう</sup>大師<sup>だいし</sup>というぼうさんもここで修行<sup>しゆぎょう</sup>したということです。

すがたが富士山に、にているので<sup>ふじ</sup>阿波富士ともよばれ、高さ1123メートルの山です。



高越山



つつじ公園

高越山から山のみねづたいに南におよそ2000メートルほどいったところに、国の天然記念物に指定されている「つつじ公園」があります。

つつじの大木がひろびろとした高原<sup>こうげん</sup>いっぱいにしげり、5月の終わりにまっかな花を咲かせ、多くのハイキング客でにぎわいます。



### 山川少年自然の家



「花のさく童話の城、<sup>まきば</sup>牧場の空に青い高越」  
 とうたう「山川少年自然の家」の歌のように小学生や中学生が自然の中でのキャンプ生活をけいけんするためにたてた建物です。

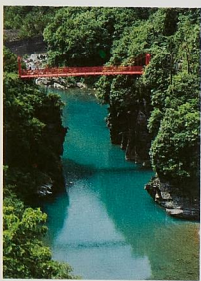
### こうつの里

<sup>こうざん</sup>高越鉦山があったあとに山川町と大  
 阪市が共同で作ったもので、<sup>まち</sup>街で働く  
 青少年のための家として多くの人たち  
 に利用されています。

この中には菜草園があり、150種の菜  
 草が植えられています。



### ふいご荘と高越大橋



ふいご橋と紅い片岩

→ 散歩みち ←



上の写真のように、日本一大きい<sup>こう</sup>紅い片岩（赤い色の岩）のあるふ  
 いご橋のかかっているけしきのよいところに、町民のためにつくられた  
 温泉「ふいご荘」があります。病気にもよくきく温泉ということで町外  
 の人々の利用も多いそうです。ふいご荘の近くに高越大橋がかかり、交  
 通の便が大へんよくなりました。

## ③ 町の人々の買いもの

### 1 買い物しらべ

#### (1) 近所での買い物

正男さんの一家の一週間の買い物ひょう（平成3年6月しらべ）

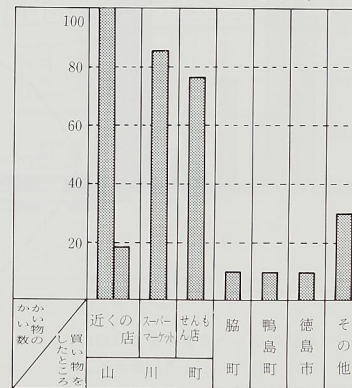
	月	火	水	木	金	土	日
山川町内	近くの店			パン さゆり もやし			菓子パン、 ハム、うどん シ、りんご
	スーパー マーケット	りんご 清涼飲料水 ジュース	えびフライ 肉コロッケ レタス 生菓子 ハヤシライ スルー	冷し中華、 たくあん、たま ご、豆腐、焼 しらす、焼 そば			アイスク リーム ウイニング ソーセージ おかし もやし
	せんもん せて				パン、ピザ まんじゅう	パン	塩菓子 アイスク リーム
徳島市							くつ下、ふ くサンダル スポン
鴨島町						エプロン ノート ホールペン	
その他					肉、牛乳、ア たまご、クリ ーム、魚		
店へ行き方	自どう車	自どう車	自どう車	はいそう	どは	自どう車	自どう車

#### ① 1週間の買いものまとめ

どこで、どんな買い物をす  
 るか、学級全員の人の家の買  
 い物をまとめました。

グラフを作ってみると、正  
 男さんの家と同じように、山  
 川町内の店やスーパーマー  
 ケットがほとんどですが、町  
 外の店でも買っていることが  
 わかりました。

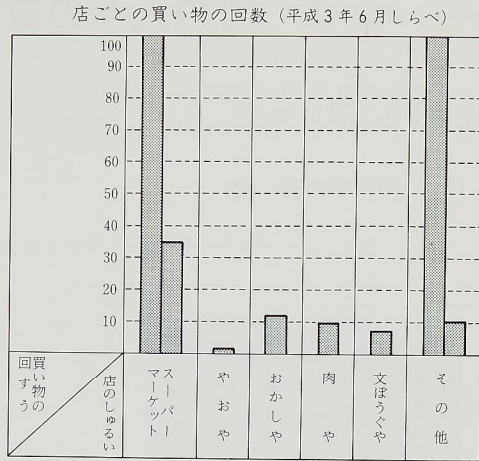
店のあるところと買い物の回数  
 （平成3年6月しらべ）



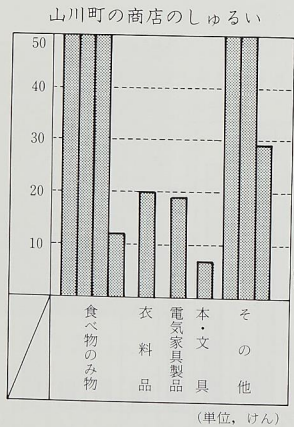


② 買い物のしゅるいと数

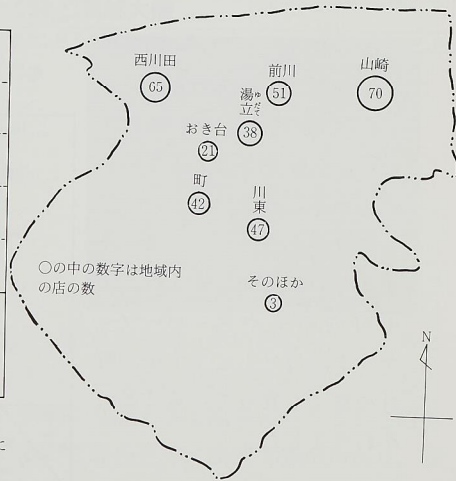
近所の店で買う物は、食べ物・のみ物・洗ざい・ちり紙・葉・えんぴつ・ノートなど毎日つかう物が多いことがわかりました。



③ 山川町の商店の数としゅるい



山川町の店の数 (平成3年4月商工会しらべ)



※ 昭和61年から平成3年までの間に食べ物のみ物店のふえ方が目立ち、その数は3倍近くになっています。

④ 古くからある商店がい

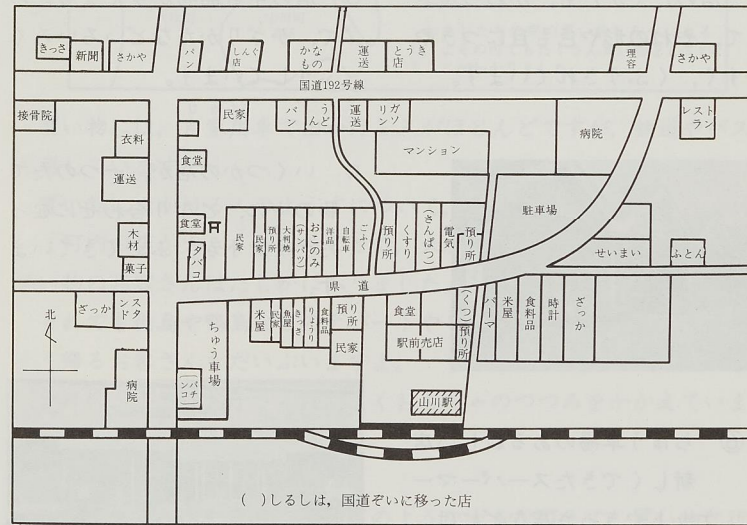
山川駅<sup>えき</sup>の前<sup>けん</sup>にある<sup>けん</sup>国道<sup>けん</sup>ぞいの商店がい<sup>けん</sup>は、昭和43年ごろまでは、バスが通り、人通りも多く、にぎやかでした。



食べ物やざっかなどの店がありました。今でも古い町のようすがのこっています。

一方で、こうした古くからある商店の中には、駅前<sup>うつ</sup>から国道<sup>けん</sup>ぞいに移った店も、いくつかあります。

山川駅前の絵地図 (駅の北がわ)





⑤ 国道ぞいの新しい店

広い国道ぞいには、食どうやガソリンスタンド、スーパーマーケット、銀行、きっき店などがつぎつぎにたてられています。

国道ぞいの新しい店



- 店のたてかたも、かわってきて、やねの形や色も目につきやすく、くふうされています。
- 店の中も品物が多くなったので、かざりかたなどいろいろくふうしています。



- いくつかの店が、一つのたて物の中に、となり合わせになったテナントが、ふえてきています。

⑥ ちゆう車場のある新しい店

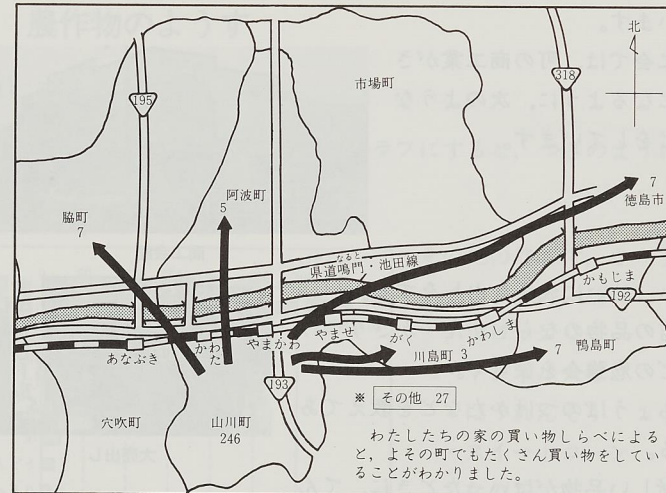
新しくできたスーパーマーケットやきっき店などには、遠くから車で来る人も多いので広いちゆう車場がつくられています。



広いちゆう車場のあるスーパーマーケット

(2) 買い物と交通

ある学校の3年1組の1週間の家の買い物の回数 (平成3年6月しらべ)



買い物には、自家用車<sup>じかよう</sup>で出かける人がほとんどですが、鉄道やバスも利用しています。

買い物に出かける人のようすについて、駅の人に聞いてみると、「町内の店が大きくなったことや、大がたスーパーができたことで、買い物のお客さんはたしかにへりました。

それでも徳島や鴨島などのデパートやせんもん店の買い物ぶくろをさげて帰るお客さんもだいぶいますよ。

それに、小さなお子さんは、よくおもちゃのつつみをかかえていますね。」

と話してくれました。

自家用車やバスや汽車で徳島市のような大きな町まで、買い物に行くのは、多くのせんもん店やデパートで、すきな品物がえらべるからです。

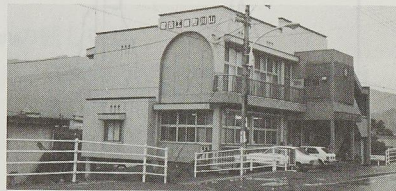
最近では、カタログ販売<sup>ほんばい</sup>による共同購入<sup>きょうどうこうにゅう</sup>をしている人もふえてきています。



### (3) 商工会のしごと

商工会は、町内の商工業にかんけいしている人たちの協力ですくられています。

商工会では、町の商工業がさかになるように、次のようなしごとをしています。



商工会館

- いっせいに大売り出しをする。
- 店の品物のならべかた・かざりつけなどの勉強会をひらく。
- ちょうぼのつけかたなどを教えてあげる。
- 新しい品物がいったときに、てんじ会をひらく。
- 店をなおしたり、品物をしいれたりするためのお金をかりる手だすけをする。



大売出し

- 商工業についてのいろいろな調査をする。
- お店の人にかわって、税金についてをしごとをする。
- 工場での、ぎじゅつしどうをする。
- いろいろなもよおしをする。

〔つつじ祭 もちつき  
花火大会 ○○かようショウ〕



勉強会



工場でのぎじゅつしどう

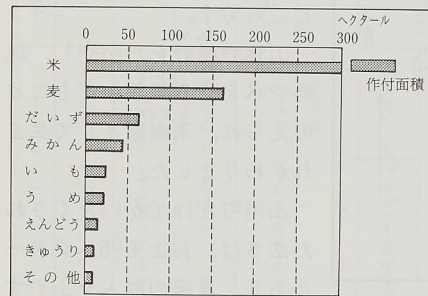
## 4 いろいろな農作物

### 1 農作物のようす

#### (1) おもな農作物

町内の農家がつくっている作物をグラフにすると、つぎのようになります。

おもな作物をつくっている広さ



(平成2年度役場しらべ)

その他の作物で、さいきんふえてきているものには

- ・ブロッコリー
- ・トンネル大根
- ・ほうれんそう
- ・スイートコーン
- ・なの花

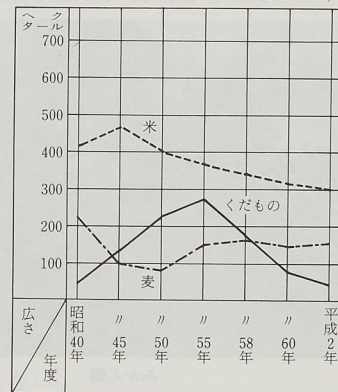
などがあります。

#### (2) 農作物のうつりかわり

- いちばん多い米づくりは、国の方しんでだんだんへってきます。
- ふえていたみかんも、昭和55年をさかいにへっています。
- 米をつくらない畑には、だいずややさいなどが多くつくられるようになりました。
- 麦は、ふえたりへったりしていましたが、このごろはあまりかわっていません。

農作物のうつりかわり

(平成2年度役場しらべ)

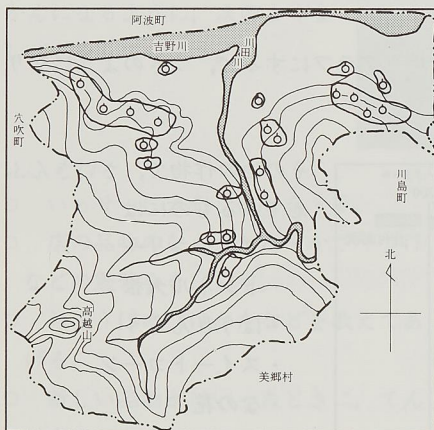




## 2 みかんづくりのしごと

### (1) みかん畑の多いところ

下の地図で、みかん畑は町の山すそあたりに多いことがわかります。



このあたりは、ゆるやかなけいしゃ地で昭和43年からはじめられた「麻植かいたくパイロット事業」でひらかれたところす。

山林や原野をたがやし、道路や水をやる施設などもとのえられ、果樹園として生まれかわりました。

山川町だけでかいたくされた広さは、およそ95ヘクタールあり、農家の収入をふやす工夫がされました。

昭和55年には、山川町全体でおよそ3000トンのみかんがとれたそうですが、みかんのねだんがさがりみかんづくりもしだいにへってきています。



みかん畑

また、昭和63年から国の方しんで、みかんの木の半分を切ることになりました。

今では、900トンぐらいになっています。

### (2) みかんづくりのようす

みかんづくり農家は、だんだんへってきましたが、町全体で45ヘクタールの畑でみかんをつくっています。

みかんのつくりかた

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
そだつようす				めが出はじめ	花がさく		めがよくのびる	ピンポン玉ぐら いの実になる				実が色づく
しごと	しょうどくをする	深くたがやして春こえをする	枝のせんでいをする	いしょく、なえ木をうえたりする	草とり、しきこみ、しょうどくをする	草とり、しょうどくをする	みぶをそろえるため、実をつみとる	先月にひきつづき、さいこの実のつみとりをする	しょうどくをする	のびためをてきしんする	秋こえをする	実をとりいれて、貯ぞうする

みかんづくり農家では、納屋やみかんを貯ぞうする家がたてられています。甘夏かんといふみかんは、12月にしゅうかくし、貯ぞうしておいて、5月ごろ市場に出荷しているそうです。

そのほか、うんしゅう、はっさくなどのみかんもつくっています。

#### 〈みかんづくりのくふう〉

- 日のよくあたるように、枝のきりこみをする。
- 消どくや水やりがらくにできるようにくふうしている。
- 大きな実ができるように、てきかをする。
- 甘夏かんは、うんしゅうやはっさくのなくなるころに出荷する。
- あまり高い土地は、寒いので植えない。



### (3) みかんのゆくえ

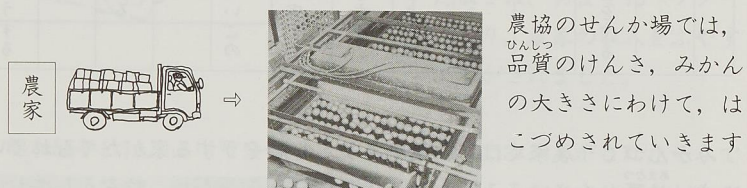
みかんの出荷のようすを調べるために農協（阿波山川農業協同組合）をたずねました。

#### ① 農協をたずねて

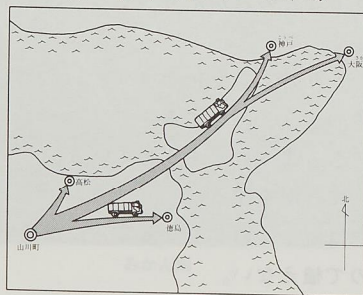
農協は、みかんなど農作物を出荷するほかに、いろいろなしごとをしています。



#### ② みかんの出荷



#### ③ みかんのおくられている市場



- みかんは、おもに徳島、高松、大阪、神戸、の市場におくられています。
- すこしでも、高いねだんで売れるようおくりさきを考えて出荷します。

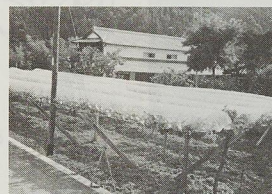
### 3 ぶどうづくり

町内では、ぶどうづくりもさかんになってきました。

早くとりいれするために、ビニールでおおいをしてつくっている農家もあります。



ぶどう畑



ビニールトンネルをしてあるところ



ぶどうのなっているところ

#### ぶどうづくりのおじさんの話

- 病気になりやすいので、しょうどくを1年に5回くらいする。
  - 枝の切りこみにてまがかかる。
  - めがたくさん出すぎている枝をまびく。
  - 種なしぶどうにするためにくすり（ジベレリン）を水でうすめた液えきに、ひとふさずつつける（2回）。
  - なりすぎている実をまびく。
  - ぶどうのふさがよい形になるように、ふさのていれをする。
  - ひとふさごとにふくろをかける。
  - 取りいれしてからも
    - ・ ふさの大きさによって、いく種類にも分ける。
    - ・ 重さをはかり、箱はこにつめる。
- ぶどうづくりもたいへんくろうするそうです。



## 4 いろいろな野菜づくり

さいきんは、野菜づくりもさかんになってきて、たくさん野菜をつくっています。

農協のすすめもあって、次のような野菜が多くなりました。

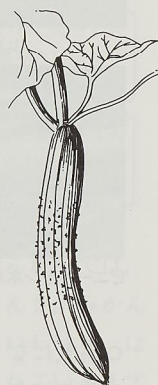
○えんどう	(15ヘクタール)	○ほうれんそう	(3ヘクタール)
○きゅうり	(14ヘクタール)	○スイートコーン	(3ヘクタール)
○ブロッコリー	(5ヘクタール)	○なの花	(3ヘクタール)
○大根	(3.6ヘクタール)		

### (1) えんどう

えんどうは、春から初夏にかけて取りいれて出荷されます。



えんどう畑



きゅうり

### (2) きゅうり

きゅうりも多くの農家でつくられています。

出荷をはやめるために、ビニールハウスやビニールトンネルをつくって育てています。

### (3) そのほかの野菜



ほうれんそう



スイートコーン

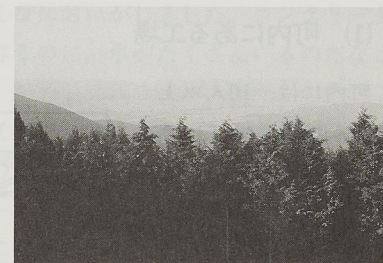
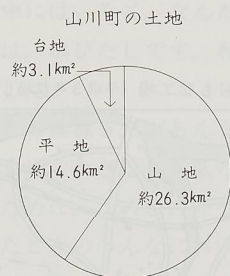


ブロッコリー

(しりょう)

### (1) 山川町の森林

山川町の土地の広さは、やく44平方キロメートルで、そのうち山地が半分以上もあります。



森林と山川町

山川町の広さのやく60パーセントをしめる山地の多くは、森林です。杉、ひのき、松、その他の木も利用されています。

#### 〈学校林〉

学校林のある小学校では、ひのきや杉の木を植えて育てています。

木を育てることは、とても大切なことです。大きくなると学校にひつような、しせつをつくったりすることができます。



杉の林

### (2) 森林のはたらき

森林は、わたしたちの生活とは、きりはなせません。きれいな川の水をたくわえてくれているのも上流にある水源林です。そのほかに、どんなはたらきがあるのでしょうか。

わたしたち、子どもにも何か木のせわができるかしら。





## ⑤ 工場のしごと

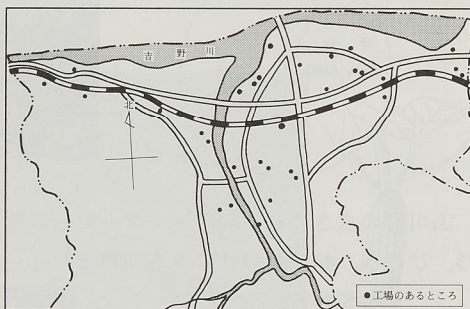
### 1 地図で工場をさがす

#### (1) 町内にある工場

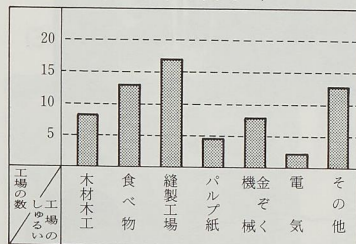
町内には、10人以上の人がはたらいている製造業の工場が、およそ70あって、1000人あまりの人がはたらいています。

工場の数では、縫製工場、食べ物工場、木材・木工工場、機械・金ぞく工場、パルプ・紙工場のじゅんに多く、はたらく人の数では、縫製工場、機械・金ぞく工場、パルプ・紙工場のじゅんに多くなっています。

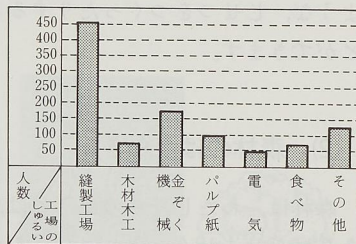
町内のおもな工場 (平成3年役場しらべ)



工場のしゅるい別の数 (昭和61年役場しらべ)



工場のしゅるい別のはたらく人の数 (昭和61年役場しらべ)



古くからあったのは製紙工場です。ほかはほとんど新しい工場です。なかでも、「川田和紙」といって1200年も前からつづいている手すき和紙のことをしらべることにしました。

## 2 製紙工場をたずねて

### (1) 工場のようにす

今、川東に1けんしか残っていない富士製紙の工場をたずねました。工場の中にはいると、なんだかへんなにおいがしました。コンクリートの土間は、水びたしです。和紙を作るのに、水がたくさんいるのだなと思いました。

工場主の藤森さんがあんないしてくださいました。工場内の右はしの方に行くと、大きな釜で紙の原料の「コウゾ」を煮ています。煮えをよくするために、この中にカセイソーダを入れるのだそうです。工場内にはいったときのへんなにおいは、ここから出ていました。

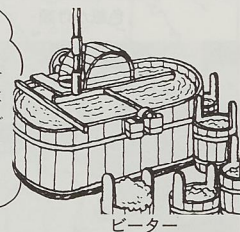
そのとなりの大きなタンクには、まっ白な原料がはいっていて、工員さんがそれをビーターに入れ、紙がすけるようにといていました。



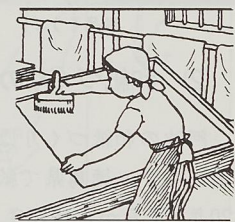
コウゾの木



紙の原料には、コウゾ・ミツマタ・ガンビがあり、三好郡・美馬郡の山からはっています。それだけでは原料が足りないので、タイ国から買っています。



つぎのへやにはいると、機械で紙をすいていました。そこはきけんなので通りすぎ、つぎのへやにはいると、三角柱の回転かんそうきで、20人ほどの女工員さんが、紙をはってかわかしていました。その手つきは、すばやくじょうずでした。



紙の乾燥

2階は、広いへやいっぱい染めた紙をほしてあって、まるで花が咲いたようでした。そのとなりのへやで、女工員さん5人が、染めたり、染めるじゅんぴをしたり、いそがしそうにはたらいていました。



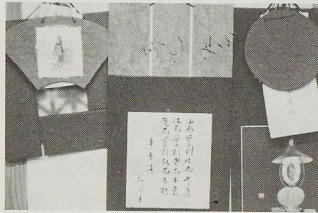
美しいでしょう。染める方法には、いたじめ染め・ろう染め・しぼり染めがあって、色々な染料を使います。和紙のあい染めは、全国で川田だけです。



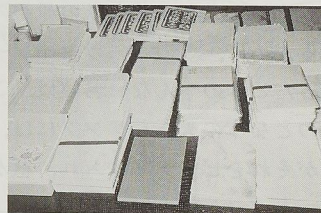
この工場には、町内や近くの町から50人ぐらいの人がはたらきに来ていると話してくれました。

そのほか、工場にはいろいろな建物があります。材料をおくところ、紙で商品を作るところ、荷づくりをするところなどです。

#### 富士製紙工場で作られる製品



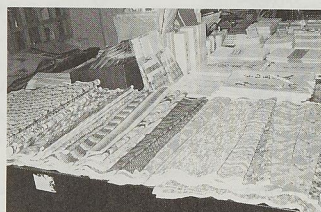
色紙かけ類



びんせん、ハガキ



製品そうこ



きれいにそめられた紙

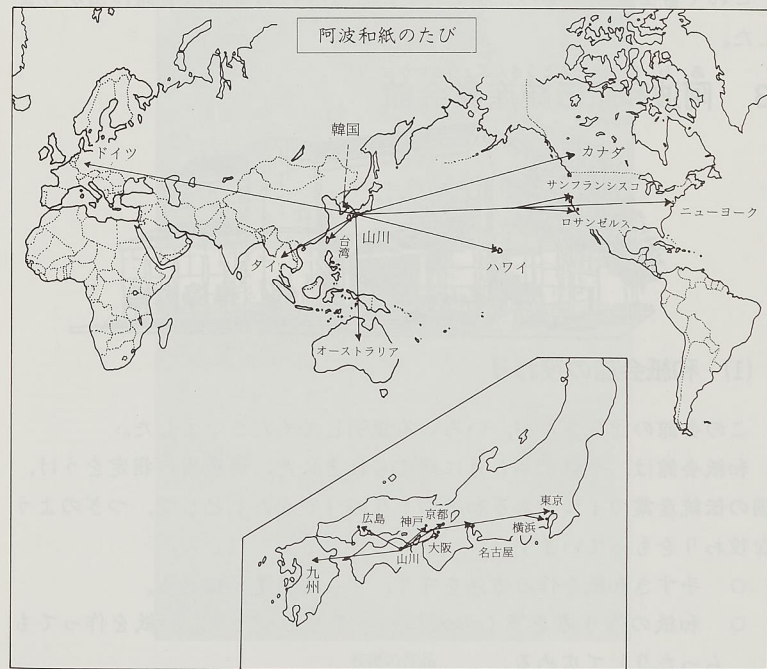
## (2) 和紙づくりのうつりかわり

阿波の和紙づくりは、今から1200年ぐらい前に<sup>いんべし</sup>忌部氏がつたえたこのことです。徳島県で紙すきがいちばんさかんであったのは1887年（明治20年）ごろから1915年（大正4年）ごろまでで、そのころ県下で紙を作っていた家が500<sup>こ</sup>あり、その中の200戸が川田にありました。そのころの紙すきは、<sup>きかい</sup>機械は1台もなく、みな手仕事で、物をはこぶのも人のかたでかっいでいました。

1869年（明治2年）に<sup>ようし</sup>洋紙の機械すきが日本に入ってきて、<sup>たいりょう</sup>大量に紙を製造するようになり、手すきの和紙はたくさん作れないので、しだいに製造する家が少なくなっていき、川田でも1919年（大正8年）には7戸となり、1928年（昭和3年）には7戸、1966年（昭和41年）には富士製紙だけになりました。

1950年（昭和45年）ごろから手すき和紙のよいことがわかってきて使う人が多くなり、川田の和紙は、東京・京都・大阪・名古屋など全国各地から注文があるようになりました。また、外国でも和紙のよさがみとめられ、アメリカやオーストラリア・カナダ・ヨーロッパ各国に輸出されています。

## (3) 製品のゆくえ





むかしは、和紙のつつみ紙・しょうじ紙・かき紙などに多く使われていました。今では、紙として売られるだけでなく、紙人形や工芸品・美術印刷などに、和紙のうすくてじょうぶ、しかも風合のよさがみなおされ、新しい製品の開発がさかんにおこなわれています。

昭和52年には、通産省の伝統工芸品の指定をうけたり、昭和61年のつくば科学万博で、迎賓館の壁面にあい染めの阿波和紙が使われるなど、その名声を高めています。

阿波の和紙は、むかしは日本の国内だけで売られていましたが、今では世界の国で使われるようになり、外国の人が勉強に来るようになりました。紙の原料もタイ国など外国から輸入するようになりました。

阿波の和紙は、世界の紙になっています。

これで富士製紙工場の見学を終え、とりにある和紙会館に出かけました。

### 3 阿波和紙伝統産業会館



#### (1) 和紙会館の役わり

この会館の館長さんが、いろいろ説明してくださいました。

和紙会館は、平成元年5月に建てられました。通産省の指定を受け、国の伝統産業の一つである和紙づくりの「やかた」として、つぎのような役わりをもっています。

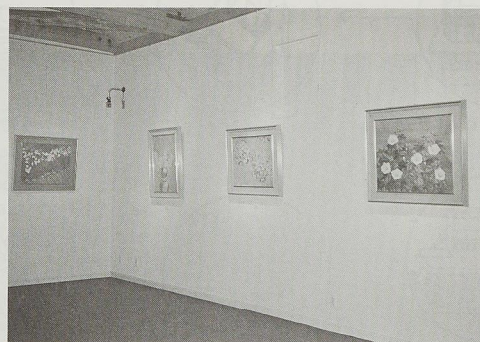
- 手すき和紙を作る方法を守り、ずっと後まで伝える。
- 和紙の作り方を多くの人に知ってもらったり、和紙を作ってもらったりして広める。
- 和紙を生活のいろいろなものに利用できるように開発する。

毎年11月ごろには、町内の6年生が卒業証書をすきにくるのことで、また、外国の人もよく紙すきの勉強に来るそうで、毎年8月に開かれている紙すきの勉強会には、10人以上の外国人が参加するそうです。はがきや半紙をすく体験コーナーもあって、だれでも手づくりの和紙を作ることができます。

そのほか、ちぎり絵教室、和紙うちわ制作、和紙人形教室、たこ作り教室などを開いたり、和紙を使った作品の展示会もたびたび開かれています。



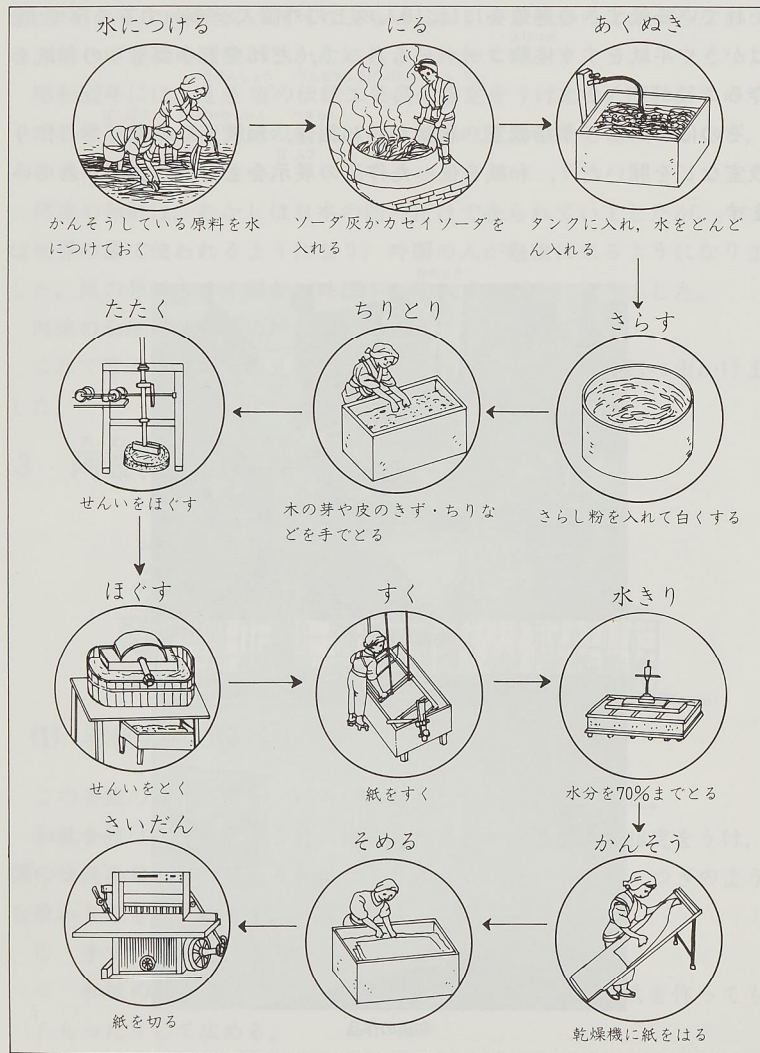
卒業証書をすく



和紙の作品



## (2) 和紙づくりのじゅんじょ



## (3) 川田で紙すきがさかんになったわけ

館長さんが、つぎのように話してくださいました。紙をすくするには、3つの大切なことがあります。

(ア) 原料になる木があること。

(イ) 水がたくさんあること。

水をたくさん使うことは、富士製紙の工場が水びたしてあったことでわかるでしょう。

(ウ) 手すき和紙をすくのになくてはならぬ「ねり」をとるものがあること。

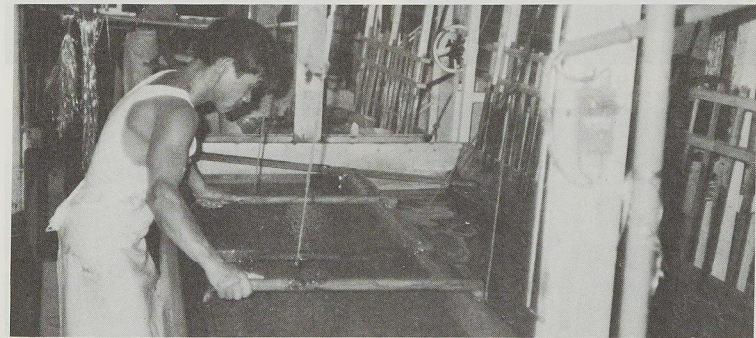


さあ、川田ではどうでしょう。館長さんは、ここにこしながら高越山を指さして、あのおこうつつあんの名は、紙の原料となるコウゾという木がお山にたくさん生えていたところから、コウゾがこうつにかわったのです。そこで(ア)の条件はパスしましたね。

高越山の地下水があつまって川田川となり、町のまん中を流れていますね。これで(イ)のこともかいつしました。

高越の里あたりに行くと、そのあたりにノリウツギ・サネカズラという木がたくさん生えています。この木の皮を煮た汁が「ねり」です。

よかったね。川田には、紙すきの大切な3つのことがみんなある。だから、川田では紙すきがさかんになったのです。

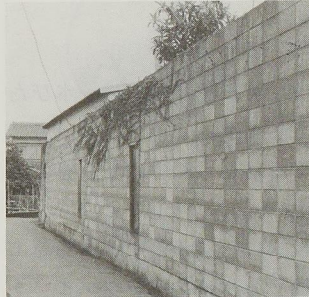


手すきで和紙をつくっているところ



#### 4 公害をふせぐ

工場では、まわりに住む人にめいわくをかけないように、いろいろ考えています。



町内の<sup>せいし</sup>製紙工場の機械の音がやかましいので、ブロックべいをうんと高くし、近所の家へ音があまりきこえないようにしてあるところ。

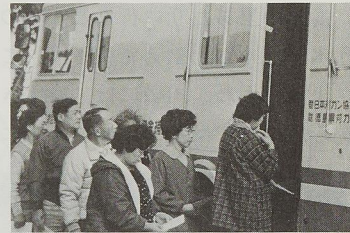
工場では、そのほかにどんなことに気をつけているのでしょうか。

#### 5 はたらく人のために

けんこうや安全に気をつけたしせつをつくったり、いろいろな活動や<sup>ぎょうじ</sup>行事をおこなっています。



社員食堂



はたらく人の<sup>けんこう</sup>健康しんだん



山川勤労者体育センター



社員いこいの広場

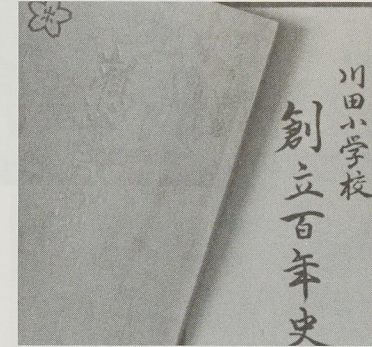
### ◇ 町の人々のくらしのうつりかわり

#### 1 学校のむかしと今

##### (1) 学校でのむかしさがし

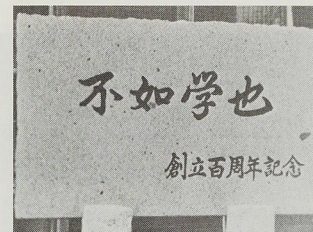
学校ができてからおよそ110年もち、町内のそれぞれの小学校では、100周年の記念行事をしました。

100年あまりの間に、学校のようないろいろなかわってきました。



川田小や山瀬小の記念の本

<むかしをつたえるもの>



川田小の<sup>しゅう</sup>百年記念ひ



むかしの教科書



川田山小の<sup>しゅう</sup>百年記念ひ



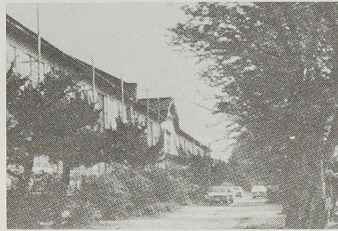
ほうあん殿



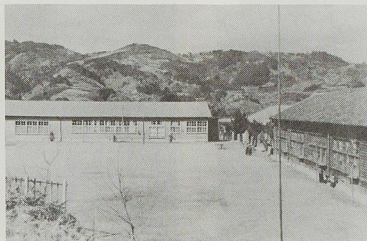
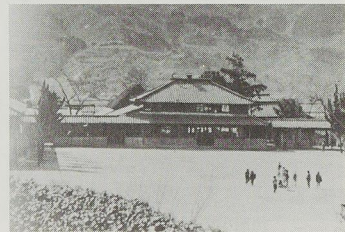
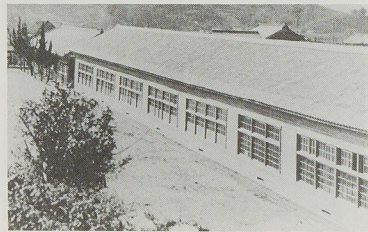
二宮金次郎のぞう



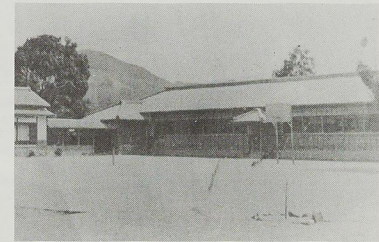
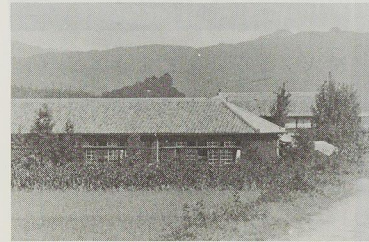
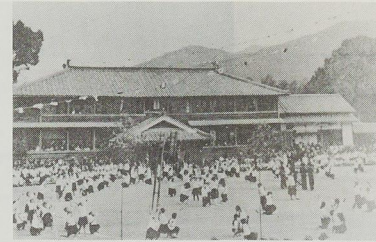
(2) むかしの学校



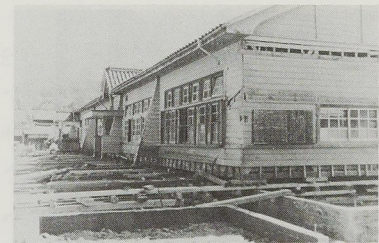
山瀬小学校



川田小学校

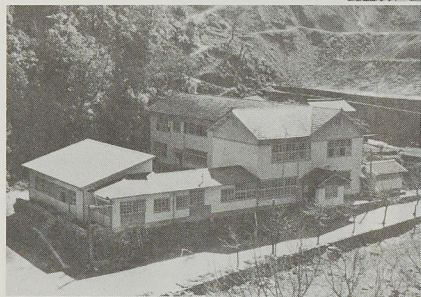


川田中小学校

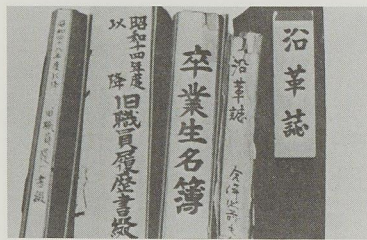
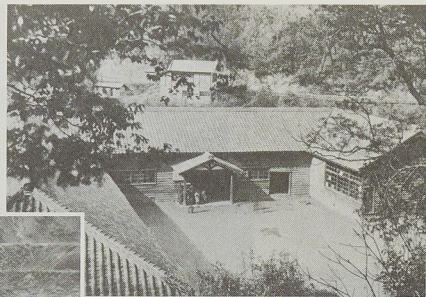


川田西小学校

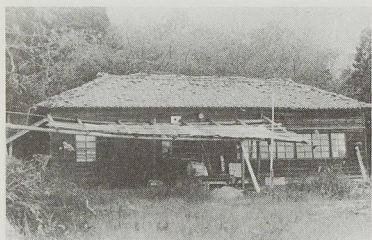




川田山小学校



学校の書類



川田山小西の峯分校



大正13年ごろの卒業写真

### おじいさんの話

わたしの小学生のころは、せんそう中で、どかいから「そかい」してきていた友だちも、たくさんいました。

べんきょうしていても、たびたび空しゅうになって家に帰ったり、ひなんしたりしました。また、運動場をたがやして食べ物をつくったりしました。

着る物や、食べる物、学用品など、物がたいへん少なく、えんぴつなども小さくなるまで大切に使いました。

おべんどうを作る米も足りないので、おひるになると学校から遠い子でもかけ足で帰って家で麦ごはんや、おいもを食べて、また学校まで走ってくる子がたくさんいました。

(昭和20年ごろの学校生活)

### おばあさんの話

子どもは、ほとんど着物におびをしめ、げたやわらぞうりをはき、教科書はふるしきにつつんで持っていきました。

ちょうどわたしが小学生のころ村にはじめて電とうがつき、びっくりしました。それまでしていたランプのそうじをしなくてもいいようになり、とてもうれしかった。また映画（そのころは活動写真と言っていた）が<sup>えい</sup>でき、たのしみにして見に行きました。映画といっても音や声が出ないので人が前に立って、おもしろおかしく<sup>せつめい</sup>説明してくれたものです。

自動車はほとんどなく、自転車も少なかったので、生徒も先生もみんな歩いて学校へきていました。

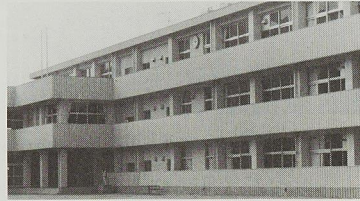
(大正時代の学校生活)



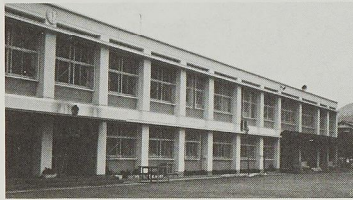
### (3) 今の学校

今のわたしたちの学校は、写真のように鉄きんのすばらしい校しゃにかわっています。

(銀むらさきに雪光る)  
川田西小学校



(高越の峯 高く仰ぎ)  
川田小学校



(青空に雲よぶ高越)  
川田中小学校



(日は照る 希望の)  
山瀬小学校



プールや体育かんもつくられ、教室には、テレビやOHPなど新しい教具もつぎつぎにとどえられてきたんですね！



そうなんだな。



### 学校のうつりかわり

山瀬小学校

いつ	木 ぞ う 校 し ゃ の こ ろ				今の校しゃ
	明 治	大 正	昭 和	和	
年ごう	明 治	大 正	昭 和	和	
で	山崎小学校	山崎小学校が瀬詰小学校の分校となった。 民家をかりて山崎小学校ができた。	山瀬小学校となった。 瀬詰・山崎西小学校を合併して山瀬尋常高等小学校となった。 大正一二年 尋常高等小学校となった。 大正一五年 湯立に分校ができた。 明治二〇年 公立瀬詰尋常小学校と名前をかえた。	山瀬小学校となった。 山瀬幼稚園ができた。 昭和一八年 山瀬国民学校になった。 昭和一六年 瀬詰・山崎西小学校を合併して山瀬尋常高等小学校となった。 昭和一三年 尋常高等小学校となった。 昭和一一年 村立山崎尋常小学校となった。	新しいプールできた。 昭和五九年 中庭花壇テニスコートできた。 昭和五四年 運動場や中庭も出来あがり記念行事をした。 昭和五三年 鉄きん校しゃが完成した。 昭和四六年 体育かんができた。 昭和四三年 プールができた。 昭和四〇年 給食がはじまった。 昭和三三年 PTAができた。 昭和三二年 山瀬小学校となった。 昭和二二年 山瀬幼稚園ができた。 昭和一八年 山瀬国民学校になった。 昭和一六年 瀬詰・山崎西小学校を合併して山瀬尋常高等小学校となった。 昭和一三年 尋常高等小学校となった。 昭和一一年 村立山崎尋常小学校となった。
き	山瀬小学校	山瀬小学校	山瀬小学校	山瀬小学校	
と	明治一〇年 石田さんの家をかりて瀬詰小学校ができた。	明治二〇年 公立瀬詰尋常小学校と名前をかえた。	大正一二年 尋常高等小学校となった。 大正一五年 湯立に分校ができた。 明治二〇年 公立瀬詰尋常小学校と名前をかえた。	山瀬小学校となった。 山瀬幼稚園ができた。 昭和一八年 山瀬国民学校になった。 昭和一六年 瀬詰・山崎西小学校を合併して山瀬尋常高等小学校となった。 昭和一三年 尋常高等小学校となった。 昭和一一年 村立山崎尋常小学校となった。	
じどう数			八二四	九七五	一〇五〇
				四三九	四四〇
				四四〇	四四〇



明治のころの教科書



山瀬小学校校舎



学校のうつりかわり

川田小学校

いつ	学校ができたころ		木ぞう校しゃのころ		今の校しゃ	
	年ごう	明治	大正	昭和	和	平成
で き ご と	明治一二年	川東北の工藤さんの家をかりて川田東小学校ができた。				
	明治一四年	今の場所につつた。				
	明治一九年	学制により西校・中校を合併し川田尋常小学校となった。				
	明治四一年	義務教育を六か年に延長。				
	大正一五年	川田村立川田尋常小学校となった。				
	昭和三年	川田町立川田尋常小学校となった。				
	昭和一六年	川田町立川田国民学校となった。				
	昭和二二年	川田町立川田小学校とあらためた。				
	昭和三〇年	山川町立川田小学校となった。				
	昭和三三年	学校林をつくつた。				
	昭和三八年	粉乳給食を開始した。				
	昭和四一年	山川町体育かんができた。				
	昭和四八年	川田小・川田中小共同プールができた。				
昭和五一年	鉄きん校しゃができた。(北校しゃ)					
昭和五七年	百周年記念の行事をした。					
昭和五八年	鉄きん校舎が完成した。					
昭和六〇年	プールを新しくつくつた。					
昭和五九年	新しい体育館ができた。					
平成四年						



あいずに使っていたかね

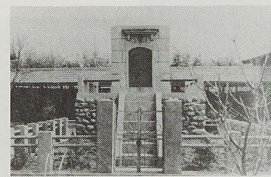


明治14年から、昭和31年までつかわれた校舎

学校のうつりかわり

川田中小学校

いつ	学校ができたころ		前の校しゃのころ		今の校しゃ	
	年ごう	明治	大正	昭和	和	平成
で き ご と	明治一三年	おいせ屋という民家をかりて川田中小学校がはじまつた。				
	明治一九年	川田尋常小学校の分校となった。				
	明治二三年	川田中尋常小学校とあらためた。				
	明治二七年	高等科ができた。				
	明治四一年	義務教育を六か年に延長。				
	大正一四年	校しゃ増改築。				
	大正一五年	川田村立川田中尋常高等小学校となった。				
	昭和三年	川田町立川田中尋常高等小学校となった。				
	昭和一一年	講堂を新築した。				
	昭和一六年	川田町立川田中国国民学校となった。				
	昭和二二年	川田町立川田中尋常高等小学校となった。				
	昭和三〇年	山川町立川田中尋常高等小学校となった。				
	昭和三三年	学校林をつくつた。				
昭和三八年	粉乳給食をはじめた。					
昭和四一年	川田小・川田中小共同プールができた。					
昭和四三年	山川中学校西校しゃあとへ移転。					
昭和四八年	体育かんができた。					
昭和五八年	鉄きん校舎が完成し百周年記念行事をした。					
昭和五九年	童編入した。					
昭和五九年	川田山小学校休校のため川田山小学校区児童編入した。					
昭和五九年	鉄きん校舎が完成し百周年記念行事をした。					
昭和五九年	プールができた。					
昭和四八年	完全給食実施。					
昭和四八年	体育かんができた。					
昭和四三年	山川中学校西校しゃあとへ移転。					
昭和四一年	川田小・川田中小共同プールができた。					
昭和三八年	粉乳給食をはじめた。					
昭和三三年	学校林をつくつた。					
昭和三〇年	山川町立川田中尋常高等小学校となった。					
昭和二二年	川田町立川田中尋常高等小学校となった。					
昭和一六年	川田町立川田中国国民学校となった。					
昭和一一年	講堂を新築した。					
昭和三年	川田町立川田中尋常高等小学校となった。					
大正一五年	川田村立川田中尋常高等小学校となった。					
大正一四年	校しゃ増改築。					
明治四一年	義務教育を六か年に延長。					
明治二七年	高等科ができた。					
明治二三年	川田中尋常小学校とあらためた。					
明治一九年	川田尋常小学校の分校となった。					
明治一三年	おいせ屋という民家をかりて川田中小学校がはじまつた。					



大正時代にできたほうあん庫



昭和11年にたてられた講堂



学校のうつりかわり

川田西小学校

いつ	学校ができたころ		前の校しやのころ		今の校しや
	明治	大正	昭	和	
で き ご と	明治一三年	明治一五年	昭和三年	昭和六年	昭和六一年
	明治一九年	明治二七年	昭和三年	昭和六年	昭和五八年
	明治二二年	明治三〇年	昭和三年	昭和六年	昭和五七年
	明治二七年	昭和一六年	昭和三年	昭和六年	昭和五六年
	明治三八年	昭和二二年	昭和三年	昭和六年	昭和五五年
	昭和三八年	昭和二七年	昭和三年	昭和六年	昭和五四年
	昭和四〇年	昭和三〇年	昭和三年	昭和六年	昭和五三年
	昭和四四年	昭和三三年	昭和三年	昭和六年	昭和五二年
	昭和四八年	昭和三八年	昭和三年	昭和六年	昭和五一年
	昭和四九年	昭和三九年	昭和三年	昭和六年	昭和五〇年
	昭和五〇年	昭和四〇年	昭和三年	昭和六年	昭和四九年
	昭和五一年	昭和四一年	昭和三年	昭和六年	昭和四八年
	昭和五二年	昭和四二年	昭和三年	昭和六年	昭和四七年
	昭和五三年	昭和四三年	昭和三年	昭和六年	昭和四六年
	昭和五四年	昭和四四年	昭和三年	昭和六年	昭和四五年

昭和六一年 防球防音フェンスができた。  
 昭和五八年 新しいプールができた。  
 昭和五七年 百周年記念行事をした。  
 昭和五六年 体育かんができた。  
 昭和五五年 鉄きん三階だて校しやができた。  
 昭和四九年 各教室にストープをつけた。  
 昭和四八年 完全給食実施。  
 昭和四四年 プールができた。  
 昭和四〇年 校内放送設備完成。  
 昭和三八年 粉乳給食開始。  
 昭和三八年 校しや増改築。  
 昭和三〇年 山川町川田西小学校となった。  
 昭和二二年 川田西幼稚園ができた。  
 昭和二年 川田町立川田西国民学校となった。  
 昭和一年 川田町立川田西尋常小学校となった。  
 大正一五年 川田村立川田西尋常小学校となった。  
 大正一五年 義務教育を六か年に延長。  
 明治四一年 今の場所にうつった。  
 明治二七年 川田西尋常小学校とあらためた。  
 明治二二年 川田尋常小学校の分校となった。  
 明治一九年 川田尋常小学校の分校となった。  
 明治一三年 かたきで民家をかりて学校をはじめた。

大正のころの写真

大正7年からつかわれた教科書

じどう数	八七	一七五	二九七	三〇九	三四二	一五二	一五二	一四一	一三二
------	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

学校のうつりかわり

休校前の川田山小学校

いつ	学校ができたころ		前の校しやのころ		今の校しや
	明治	大正	昭	和	
で き ご と	明治一四年	明治二三年	昭和四七年	昭和五九年	昭和五九年
	明治二三年	明治三一年	昭和四七年	昭和五九年	昭和五八年
	大正三年	大正八年	昭和四七年	昭和五九年	昭和五七年
	大正八年	大正八年	昭和四七年	昭和五九年	昭和五六年
	昭和九年	昭和九年	昭和四七年	昭和五九年	昭和五五年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四九年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四八年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四七年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四六年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四五年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四四年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四三年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四二年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四一年
	昭和一六年	昭和一六年	昭和四七年	昭和五九年	昭和四〇年

昭和五九年 児童数がへって四月から休校になり、のこった児童は川田中小学校へ通学するようになった。  
 昭和五八年 百周年記念の行事をした。  
 昭和五五年 幼稚園児がいなかったため休園となった。  
 昭和四九年 全教室に石油ストープをいれた。  
 昭和四八年 完全給食を始めた。  
 昭和四七年 上水道ができた。  
 昭和四七年 プールができた。  
 昭和四七年 複式学級ができた。  
 昭和四五年 西の峰分校が休校となった。  
 昭和四五年 西の峰分校が休校となった。  
 昭和三八年 粉乳ミルク給食をはじめた。  
 昭和三〇年 山川町川田山小学校となった。  
 昭和一六年 川田山国民学校となった。  
 昭和九年 西の峰分校をつくった。  
 大正八年 増改築をした。  
 大正三年 高等科ができて、川田山尋常高等小学校となった。  
 明治三一年 校しやを新しくして今のところに移転した。  
 明治二三年 川田山尋常小学校となった。  
 明治一四年 水車小屋をかりて川田山校がはじまった。

明治のころの教科書

昭和のはじめころの写真

西の峰分校校舎

じどう数	四五	八五	二三一	二六九	二七	一三
------	----	----	-----	-----	----	----

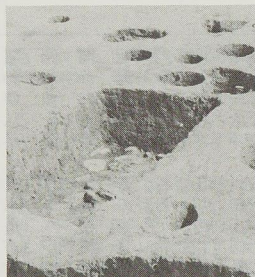


## 2 かわってきた町の人々の暮らし

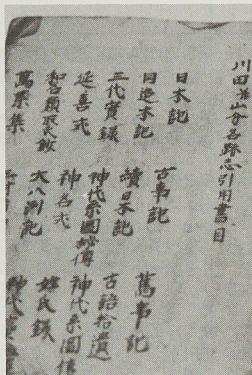
### (1) 町でのむかしがし

わたしたちのまわりには、むかしを伝えるものがたくさんあります。

石ひのような形の  
のこっているもの  
や、お宝おどりのよ  
うな、無形文化財な  
ど、いろいろです。



すえくにいせきはくつ



川田邑名跡志



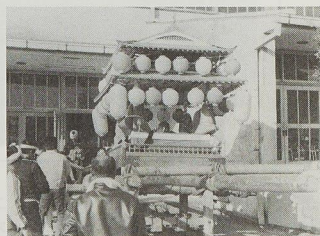
みこし



ししまい

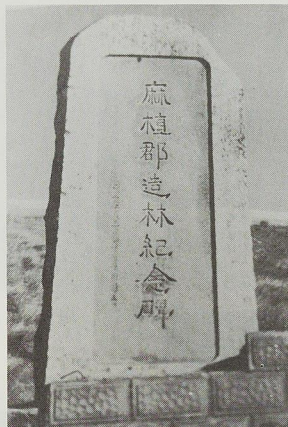


お宝おどり



やたい

〈開たくのあとをつたえるもの〉



麻植郡造林記念ひ



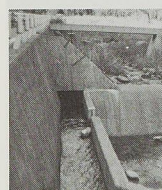
川田耕地整理記念ひ



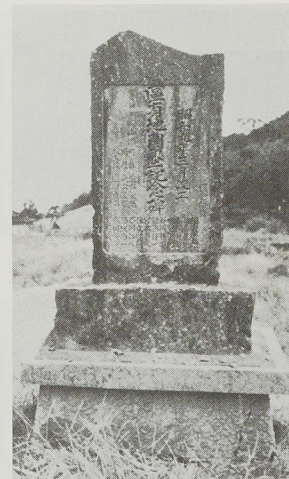
検地帳



湯立耕地整理記念ひ



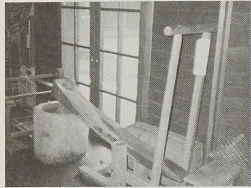
西用水・水源地



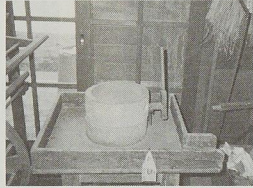
瀬詰区有地かいこん記念ひ



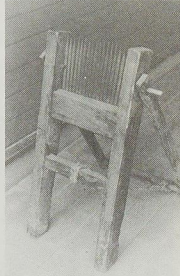
(2) 米づくりの農家にのこる古い道具



からうす



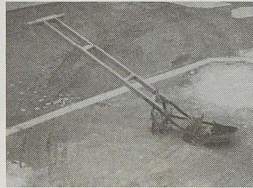
ひきうす



せんばこき



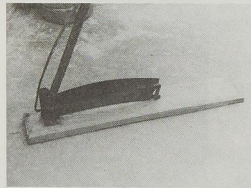
とおみ



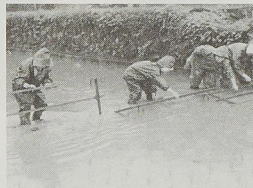
田ごろ



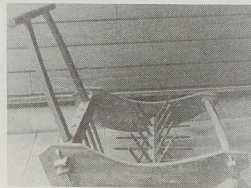
たうす



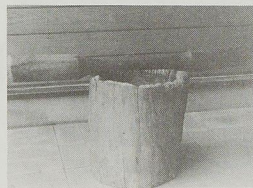
くさきり



じょうぎ



うまぐわ



うすときね



みのかさ

<田うえとしゅうかく>



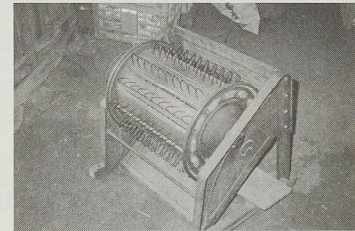
田うえ



いねかり



田うえき



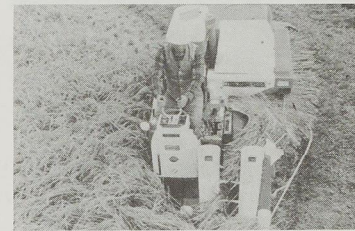
足ふみだっこき



バインダー



いちどにたくさんうえる田うえき



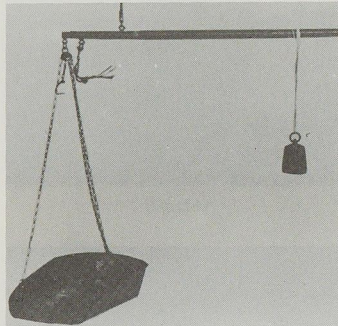
コンバイン

古い道具とむかしのようす

今の新しい農機のうきぐ具



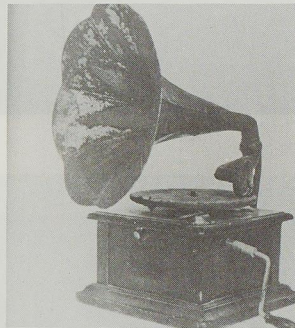
### (3) 人々が使っていた古い道具



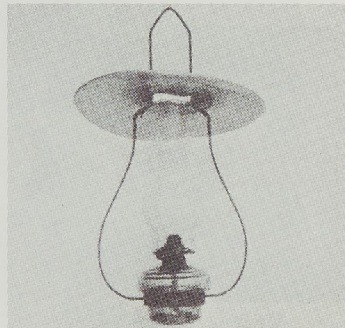
さおばかり



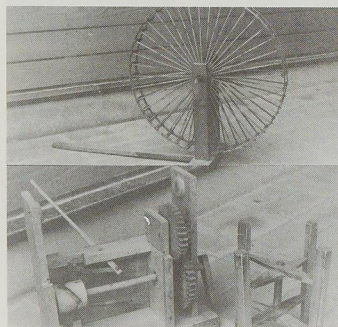
ちょうちん



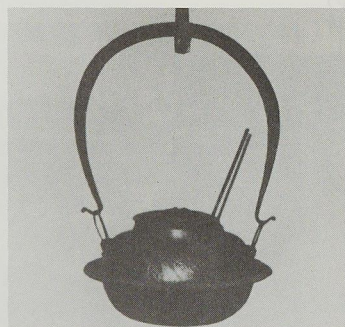
ちくおんき



ランプ



はたおりどうぐ



ちゃがま

### (4) むかしの交通

鉄道ができる前は、馬や荷車<sup>にぐるま</sup>のほか吉野川を上り下りする船<sup>り</sup>を利用していました。

徳島から三好郡川口<sup>みよし</sup>（山城町）のあいだをかよい、山川では船戸・北島<sup>ふなと</sup>・瀬詰<sup>せづめ</sup>に船つき場<sup>はま</sup>があって、ここで人や荷物のつみおろしをしていました。そのころ吉野川を行き来していた船はほかけ船で、60石船<sup>こく</sup>といってお米が60石（やく9000キログラム）積める大きき（長さ10メートル、はば3メートル）で、ほにつかう布に8たんものきれを使ったことから8たんほ船ともいいました。流れのはいとところや、風のない日などは、近くの人がたくさん出て、船につなをつけて引っ張って川をさかのぼっていたそうです。

とくに北島の浜は、船つき場としてちょうどよいところで船もここを休けい場所<sup>ふきん</sup>にしていたので、この付近は大へんにぎわっていました。

〔注〕徳島への1おうふくはやく8日かかりました。下り船はたきぎが多く上り船はしお、むしろ、肥料などが多かったそうです。

### 鉄道のできたころ

徳島から山川の交通は、船か馬か荷車<sup>にぐるま</sup>にたよっていましたが、そのご馬車という馬に車を引かせるうんぱん車<sup>かいつう</sup>ができて、かなり多くの荷物がはこばれるようになりました。

明治30年から工事ははじめて徳島から山川町の船戸駅まで鉄道がしかれることになり、明治33年に開通しました。

大正3年に西川田につみやまトンネルができて汽車が池田まで行くようになった時に、今の場所に川田駅もつくられました。

鉄道の開通によって、物や人の行ききが大へん便利<sup>べんり</sup>になり山川町の文化もめざましく発展しました。

駅ができるまでは、山瀬駅ふきんも、山川駅前も川田駅近くも家がまばらで、農家がてんとあつたぐらいでしたが、駅ができてから急に家がふえ、人の行ききが多くなってきたそうです。



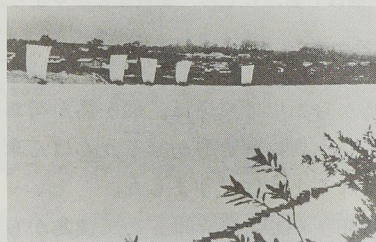
交通の発達

何年前	昭和六二年
一〇〇年ぐらい前	昭和五九年
九〇年ぐらい前	二〇年ぐらい前
七五年ぐらい前	二五年ぐらい前
五〇年ぐらい前	三〇年ぐらい前
三五年ぐらい前	三〇年ぐらい前
二〇年ぐらい前	二〇年ぐらい前
一〇年ぐらい前	二〇年ぐらい前
何年前	二〇年ぐらい前

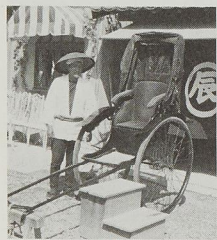
高越大橋ができた。 国道一九三号線が美郷まで開通した。	岩津橋（車道）ができた。 国道一九二号線が開通し、自分の家を持つ人が多くなってきた。	徳島―池田間をバスが走るようになり山川町にもたくさんバス停留所ができた。 瀬詰大橋ができた。	汽車がディーゼーカーになった。 岩津橋ができる。	山川―美郷にバスが開通した。 鉄道が池田までしかれた。 自転車にのる人ができた。 鉄道が船戸までできた。	吉野川を上り下りする船の交通がさんかであった。
--------------------------------	---	---	-----------------------------	---	-------------------------



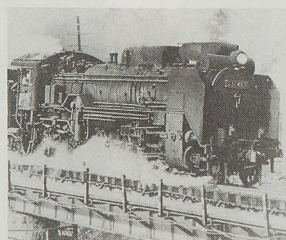
かご



ほかけ船



人力車



SL



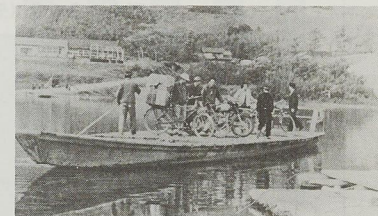
ディーゼーカー

(5) 瀬詰大橋ができるまでのようす

今の瀬詰大橋は、今から30年ぐらい前にできあがりました。

それまでは木の橋がありましたが、大水が出るたびに流されていきました。

それより前は、岡田式渡船とせんといって川上にケーブルをはり、かつ車をつけてワイヤーで船をつなぎ、水の流れを利用して船を前に進めるしくみの渡し船がありました。

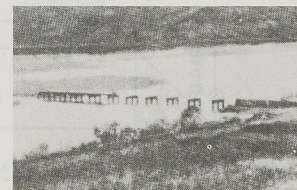


岡田式渡船

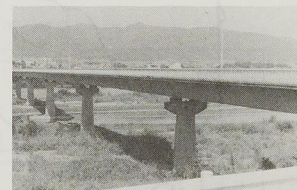
その船で伊澤村（今の阿波町）と山瀬町（今の山川町）とを結ぶ交通路としていましたが、大水が出ると船がとまり、とてもふべんでした。

(6) 瀬詰大橋ができてからのようす

瀬詰大橋ができて、わたしたちの町と阿波町を結ぶ時間がみじかくなり、とてもべんりになりました。そのうえ自動車がふえてきたので新しい道路もつぎつぎとつくられました。



瀬詰のせん水橋のあと



瀬詰大橋

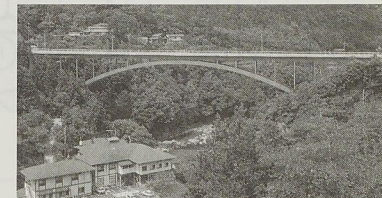
昭和30年 真重―山川停車場線の開通

昭和43年 国道192号線のつけかえ

昭和49年 堤外3号線改良

昭和58年 国道193号線、山川―美郷間開通

昭和62年 高越大橋開通



高越大橋

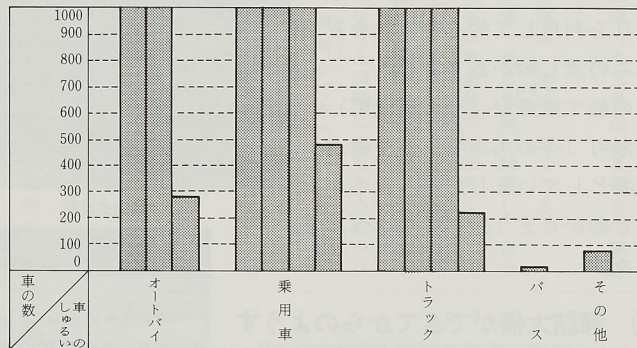


### (7) 山川町のうつりかわり

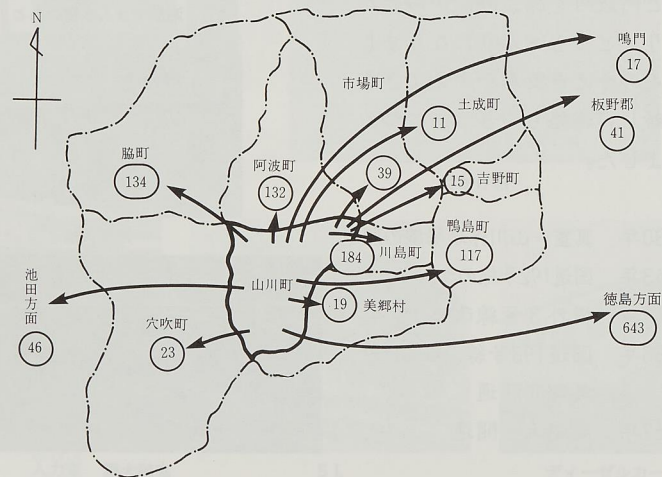
#### ① となりの町との結びつき

新しい橋や道路ができたところから、町内の自動車の数も年ごとに多くなりました。そして、買い物や通きに自動車が利用されるようになり、遠い所へでもかんたんに行けるようになりました。

山川町内の車の数 (平成3年 役場しらべ)



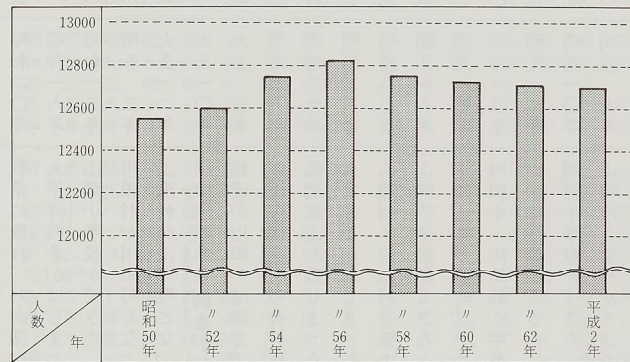
#### ② 山川町より町外へ働きに出ている人数 (平成3年 役場しらべ)



### ③ 人口のようす

大きな店がふえたり、新しく工場ができたり、道路がよくなりましたが、人口は少しずつへってきました。

人口のうつりかわり (平成3年 役場しらべ)

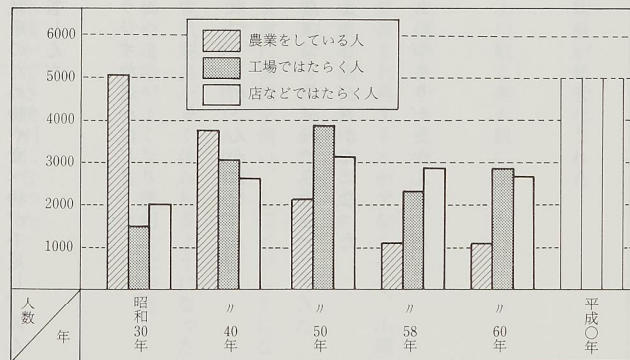


#### ④ かわってきた人々のくらし

世の中がかわり、しごとのしゅるいがますますつれ、人々のくらしもかわってきました。

農業をする人がしだいにへり、町外へつとめに出て行く人がふえてきました。

はたらく人のうつりかわり (平成3年 役場しらべ)



平成の年になって、どうかわっているでしょう。



山川町のうつりかわり

西れき	年号	町のうつりかわり	くらしのうつりかわり
一九五五	昭和三〇年	山瀬町、川田町、三山村の一部が合併、山川町ができた。瀬詰せん水橋ができた	天皇が全国をまわられ、山瀬駅で下車された
一九四五	昭和二〇年	戦争に敗れ、わが国が大きくかわった	戦争のため物や食べ物不足し、みんなが苦しんだ
一九四一	昭和一六年	太平洋戦争がはじまった	ラジオ放送がはじまった
一九三八	昭和一三年	山瀬小学校ができた	米づくりがさんかになった
一九二八	昭和三年	川田村が川田町となった	あいづくりがおどろえた
一九三二	大正一二年	山瀬村が山瀬町となった	ようさんがさかんになった
一九二一	大正一〇年	川田川の鉦毒調査が行われた	あいづくりがさかんだった
一九一四	大正三年	鉄道が川田・池田までできた	
一九〇〇	明治三三年	鉄道が徳島から舟戸駅までできた	
一八九六	明治二九年	高越鉦山がはじまった	
一八九〇	明治二三年	久宗鉦山がはじまった。ほたる橋ができた	
一八八九	明治二二年	山瀬村・川田村・三山村ができた	
一八八二	明治一五年	山崎小学校ができた	
一八八一	明治一四年	川田山小学校ができた	
一八八〇	明治一三年	川田中・川田西小学校ができた	
一八七九	明治一二年	川田小学校ができた	
一八七七	明治一〇年	瀬詰小学校ができた	
一八七四	明治七年	山崎ゆう便局ができた	

一九九〇	平成二年	山川町庁舎ができた	国鉄が民営化された
一九八八	平成元年	山川町総合スポーツ運動場完成	山川駅も無人駅になった
一九八七	昭和六二年	高越大橋・山川勤労者体育センターができた	交通事故がふえだした
一九八六	昭和六一年	山瀬公民館開拓パイロット事務所へ移転	鉄道を利用する人が少なくなり、山瀬・川田駅が無人駅になった
一九八五	昭和六〇年	パイロット事業完了	農業をする人がだんだんへつてきた
一九八三	昭和五八年	国道一九三号線山川―美郷間が開通した	農業に機械を使い、しごとがらくになった
一九七九	昭和五四年	山川町公民館ができた	つとめに行く人が多くなった
一九七七	昭和五二年	山川少年自然の家ができた	電気製品が多く使われるようになった
一九七六	昭和五一年	こうつの里ができた。教育集会所ができた	橋や道路がよく便利になった
一九七三	昭和四八年	ふいご荘ができた	水道ができ便利になった
一九七一	昭和四六年	阿北消防組合ができた	テレビが見られるようになった
一九七〇	昭和四五年	国道一九二号線が開通した	
一九六八	昭和四三年	公営住宅がたてられるようになった	
一九六六	昭和四一年	瀬詰大橋が完成した。山川中学校ができた	
一九六四	昭和三九年	開拓パイロット事業がはじまった	
一九六〇	昭和三五年	老人ホームができた	
一九五八	昭和三三年	町に水道ができた。保育所もできた	
一九五七	昭和三二年	岩津橋ができた	
一九五七	昭和三二年	湯立駅を阿波山川駅とよぶようになった	